

**刈谷市地域公共交通計画
(案)
【資料編】**

刈谷市

刈谷市地域公共交通計画（案）

資料編目次

第1章 公共交通に関するアンケート調査

1 アンケート調査概要	1
2 市民アンケート調査結果	2
(1) 単純集計	2
(2) クロス集計	26
3 バス利用者（「かりまる」利用者）アンケート調査結果	35

第2章 数値目標の設定根拠

1 数値目標の考え方	61
(1) 評価指標における数値目標の考え方	61
(2) 参考指標における数値目標の考え方	66

第1章 公共交通に関するアンケート調査

1 アンケート調査概要

公共交通に関する利用者ニーズを把握するため、市民及び公共施設連絡バス「かりまる」利用者を対象としたアンケート調査を実施しました。

【公共交通に関するアンケート調査の実施概要】

調査期間	・令和3年（2021年）12月6日（月）～12月20日（水）
調査対象	・市民：1,900人（16歳以上の市民から無作為抽出） ・公共施設連絡バス「かりまる」利用者：600人
調査方法	・市民：郵送配付・郵送回収 ・公共施設連絡バス「かりまる」利用者： バス車内に設置したアンケートボックスにて配布 後日、同ボックスまたは郵送にて回収
調査内容	・日常生活の移動実態 ・公共交通に関する満足度・重要度 ・公共施設連絡バスの利用実態 等
回収率	・市民：41.5%（788通/1,900通） ・公共施設連絡バス「かりまる」利用者：40.7%（244通/600通）

2 市民アンケート調査結果

(1) 単純集計

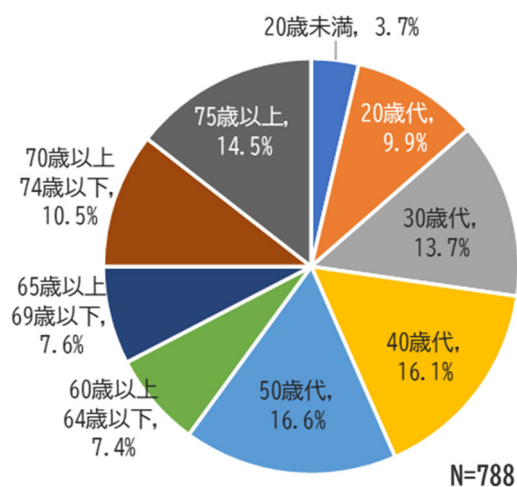
市民を対象とした、公共交通に関する利用者ニーズの把握に向けたアンケート調査の結果を整理します。

【回答者の属性】

問1 あなたの年齢を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の年齢は、「50歳代」(16.6%)が最も多く、次いで「40歳代」(16.1%)、「75歳以上」(14.5%)となっています。

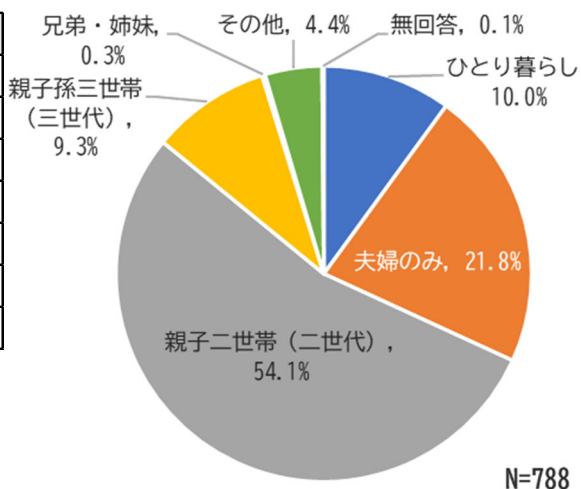
項目	回答数	回答率
20歳未満	29	3.7%
20歳代	78	9.9%
30歳代	108	13.7%
40歳代	127	16.1%
50歳代	131	16.6%
60歳以上64歳以下	58	7.4%
65歳以上69歳以下	60	7.6%
70歳以上74歳以下	83	10.5%
75歳以上	114	14.5%
無回答	0	0.0%
合計	788	100.0%



問2 あなたの家族構成を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の家族構成は、「親子二世帯(二世帯)」(54.1%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(21.8%)、「ひとり暮らし」(10.0%)となっています。

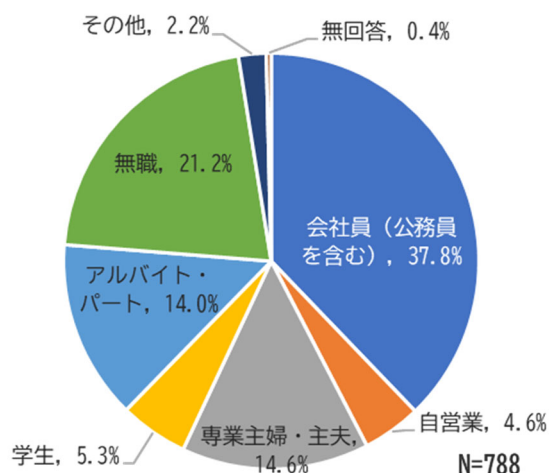
項目	回答数	回答率
ひとり暮らし	79	10.0%
夫婦のみ	172	21.8%
親子二世帯(二世帯)	426	54.1%
親子孫三世帯(三世帯)	73	9.3%
兄弟・姉妹	2	0.3%
その他	35	4.4%
無回答	1	0.1%



問3 あなたのご職業を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の職業は、「会社員(公務員を含む)」(37.8%)が最も多く、次いで「無職」(21.2%)、「専業主婦・主夫」(14.6%)となっています。

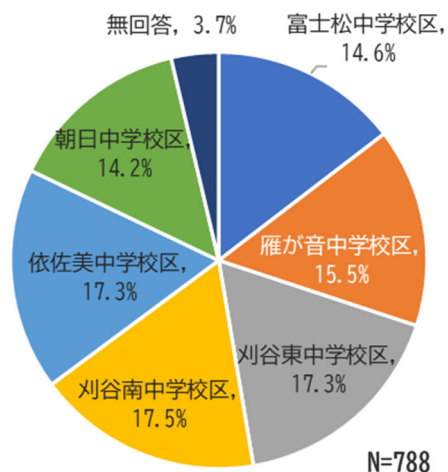
項目	回答数	回答率
会社員(公務員を含む)	298	37.8%
自営業	36	4.6%
専業主婦・主夫	115	14.6%
学生	42	5.3%
アルバイト・パート	110	14.0%
無職	167	21.2%
その他	17	2.2%
無回答	3	0.4%
合計	788	100.0%



問4 あなたのお住まいを教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の住まいは、どの中学校区でもほぼ同程度となっています。

項目	回答数	回答率
富士松中学校区	115	14.6%
雁が音中学校区	122	15.5%
刈谷東中学校区	136	17.3%
刈谷南中学校区	138	17.5%
依佐美中学校区	136	17.3%
朝日中学校区	112	14.2%
無回答	29	3.7%
合計	788	100.0%

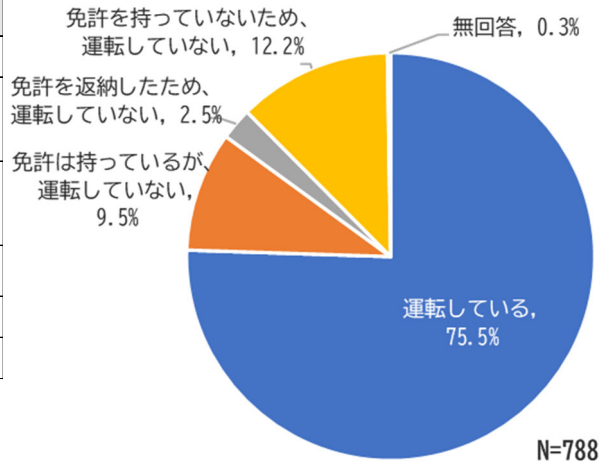


【自動車運転免許の保有状況】

問5 あなたは普段、自動車を運転しますか。(該当する項目1つに○)

- 普段から自動車を「運転している」(75.5%) 市民が多く、運転免許の保有割合(運転している+免許は持っているが、運転していない)は85.0%と高い傾向にあります。
- また、運転免許を返納した市民は2.5%のみとなっています。

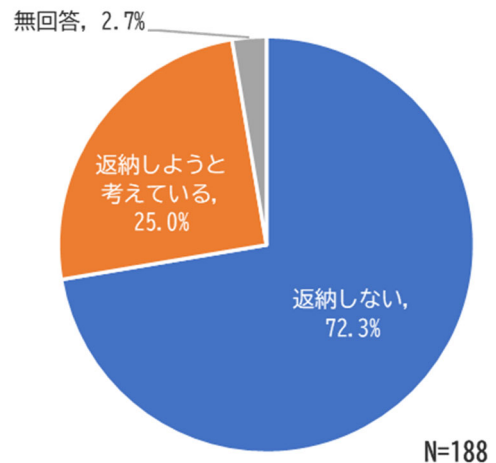
項目	回答数	回答率
運転している	595	75.5%
免許は持っているが、運転していない	75	9.5%
免許を返納したため、運転していない	20	2.5%
免許を持っていないため、運転していない	96	12.2%
無回答	2	0.3%
合計	788	100.0%



問6 あなたは今後、自ら運転免許を返納しようとお考えですか。(該当する項目1つに○)
※自動車運転免許をお持ちの65歳以上の方のみ回答

- 65歳以上の運転免許保有者のうち、72.3%が運転免許を「返納しない」と回答しており、返納意向が低い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
返納しない	136	72.3%
返納しようと考えている	47	25.0%
無回答	5	2.7%
合計	188	100.0%



問7

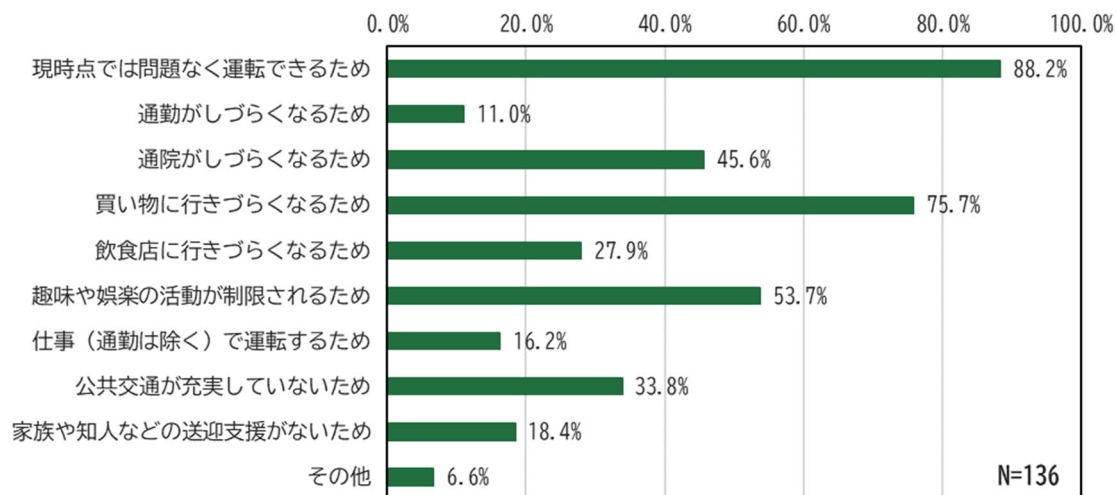
自動車運転免許を返納しない理由は何ですか。(該当する項目全てに○)

※問6で「返納しない」を選択した方のみ回答

- 自動車運転免許を返納しない理由としては、「現時点で問題なく運転できるため」(88.2%)が最も多く、次いで「買い物に行きづらくなるため」(75.7%)、「趣味や娯楽の活動が制限されるため」(53.7%)となっており、運転免許返納により、日常生活の移動が制限されてしまうといったイメージが強い傾向にあります。
- その他、「公共交通が充実していないため」(33.8%)となっています。

項目	回答数	回答率
現時点では問題なく運転できるため	120	88.2%
通勤がしづらくなるため	15	11.0%
通院がしづらくなるため	62	45.6%
買い物に行きづらくなるため	103	75.7%
飲食店に行きづらくなるため	38	27.9%
趣味や娯楽の活動が制限されるため	73	53.7%
仕事（通勤は除く）で運転するため	22	16.2%
公共交通が充実していないため	46	33.8%
家族や知人などの送迎支援がないため	25	18.4%
その他	9	6.6%
無回答	48	35.3%
合計	561	

※回答率は N=136 で算出。



問8

自動車運転免許を返納した、または返納しようとする理由は何ですか。また、返納後に利用している、または利用を考えている交通手段を教えてください。(該当する項目全てに○)

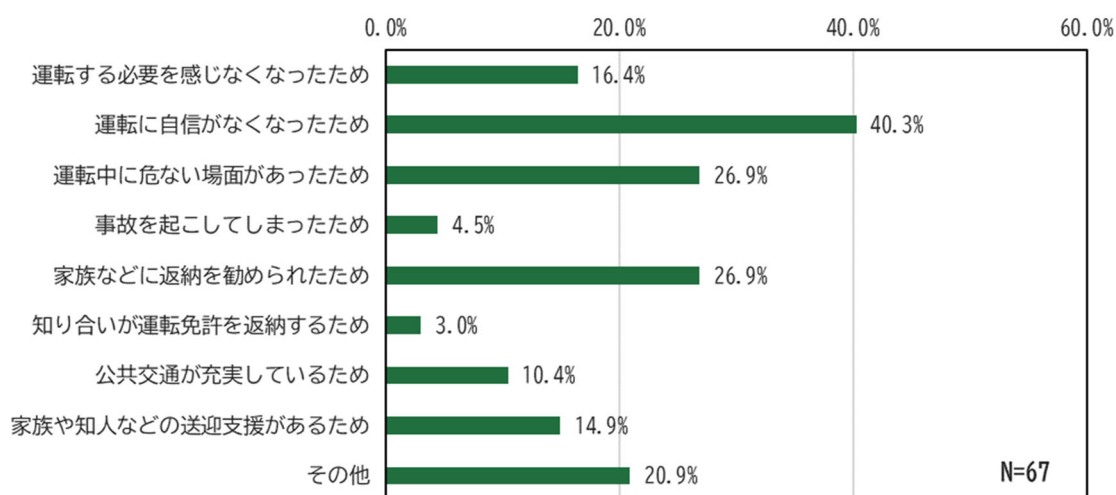
※問5で「免許を返納したため、運転していない」を選択した方、または問6で「返納しようと考えている」を選択した方のみ回答

①返納した、または返納しようとする理由

- 自動車運転免許を返納した、または返納しようとする理由としては、「運転に自信がなくなったため」(40.3%)が最も多く、次いで「運転中に危ない場面があった」「家族などに返納を勧められたため」(ともに26.9%)となっています。
- 「その他」(20.9%)としては、「事故を起こしてからでは遅いため」や「テレビ等で他人の事故を見たため」等の回答がありました。

項目	回答数	回答率
運転する必要性を感じなくなったため	11	16.4%
運転に自信がなくなったため	27	40.3%
運転中に危ない場面があったため	18	26.9%
事故を起こしてしまったため	3	4.5%
家族などに返納を勧められたため	18	26.9%
知り合いが運転免許を返納するため	2	3.0%
公共交通が充実しているため	7	10.4%
家族や知人などの送迎支援があるため	10	14.9%
その他	14	20.9%
無回答	48	71.6%
合計	158	

※回答率は N=67 で算出。

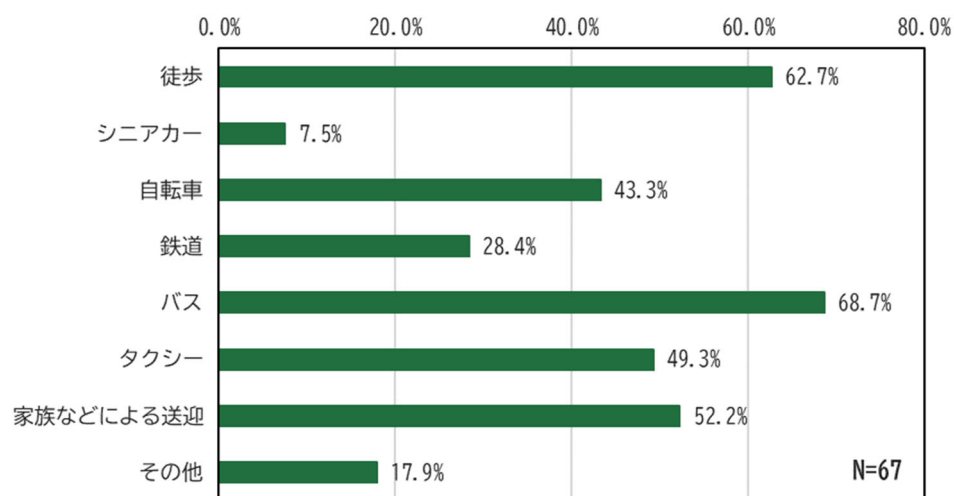


②返納後に利用している、または利用を考えている交通手段

- 自動車運転免許返納後に利用している、または利用を考えている交通手段としては、「バス」(68.7%)が最も多く、次いで「徒歩」(62.7%)、「家族などによる送迎」(52.2%)となっています。また、公共交通手段でみると、「バス」(68.7%)、「タクシー」(49.3%)、「鉄道」(28.4%)となっており、免許返納後の交通手段として、「バス」のニーズが高い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
徒歩	42	62.7%
シニアカー	5	7.5%
自転車	29	43.3%
鉄道	19	28.4%
バス	46	68.7%
タクシー	33	49.3%
家族などによる送迎	35	52.2%
その他	12	17.9%
無回答	48	71.6%
合計	269	

※回答率は N=67 で算出。



【普段の外出】

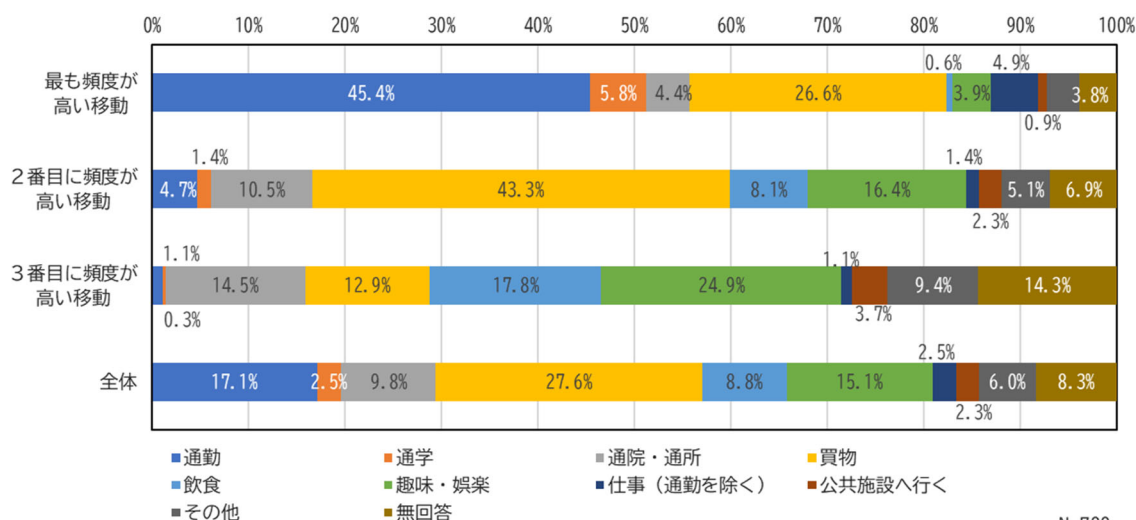
問9

あなたの現在の外出のうち、「最も頻度が高い移動」「2番目に頻度が高い移動」「3番目に頻度が高い移動」について、それぞれの外出の目的、頻度、主な時間帯、出発地と目的地、交通手段を教えてください。(刈谷市外への外出も含む)

外出の目的

- 外出の目的全体では、「買物」(27.6%)が最も多く、次いで「通勤」(17.1%)、「趣味・娯楽」(15.1%)となっています。
- また、頻度別で見ると最も頻度が高い移動では「通勤」(45.4%)が最も多く、2番目に頻度が高い移動は「買物」(43.3%)、3番目に頻度が高い移動は「趣味・娯楽」(24.9%)が最も多くなっています。

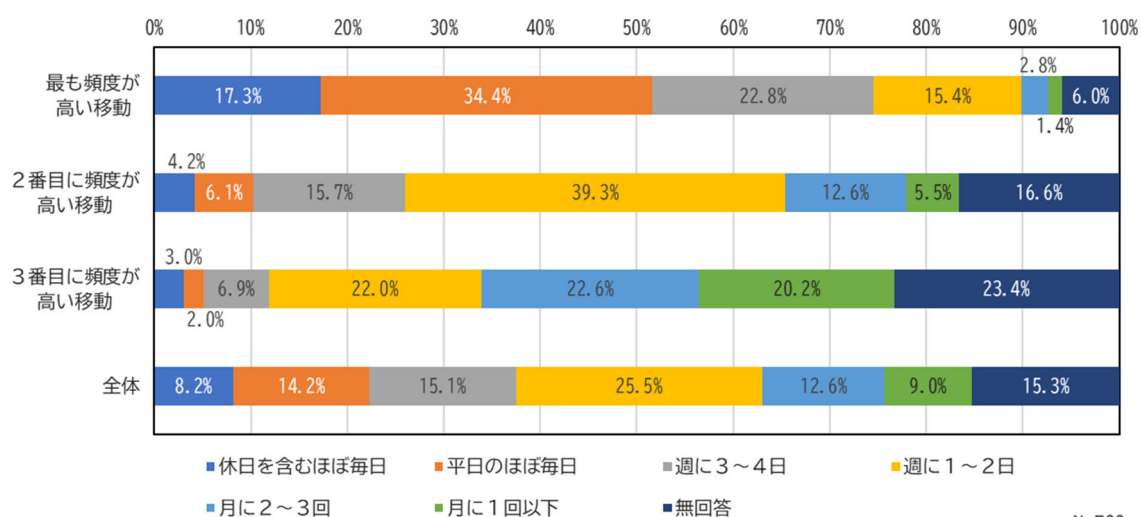
項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
通勤	358	45.4%	37	4.7%	9	1.1%	404	17.1%
通学	46	5.8%	11	1.4%	2	0.3%	59	2.5%
通院・通所	35	4.4%	83	10.5%	114	14.5%	232	9.8%
買物	210	26.6%	341	43.3%	102	12.9%	653	27.6%
飲食	5	0.6%	64	8.1%	140	17.8%	209	8.8%
趣味・娯楽	31	3.9%	129	16.4%	196	24.9%	356	15.1%
仕事(通勤を除く)	39	4.9%	11	1.4%	9	1.1%	59	2.5%
公共施設へ行く	7	0.9%	18	2.3%	29	3.7%	54	2.3%
その他	27	3.4%	40	5.1%	74	9.4%	141	6.0%
無回答	30	3.8%	54	6.9%	113	14.3%	197	8.3%
合計	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	2,364	100.0%



外出の頻度

- 外出の頻度全体では、「週に1～2日」(25.5%)が最も多く、次いで「週に3～4日」(15.1%)、「平日のほぼ毎日」(14.2%)となっています。
- また、頻度別でみると最も頻度が高い移動では「平日のほぼ毎日」(34.4%)が最も多く、2番目に頻度が高い移動では「週に1～2日」(39.3%)、「月に2～3回」(22.6%)が最も多くなっています。

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
休日を含むほぼ毎日	136	17.3%	33	4.2%	24	3.0%	193	8.2%
平日のほぼ毎日	271	34.4%	48	6.1%	16	2.0%	335	14.2%
週に3～4日	180	22.8%	124	15.7%	54	6.9%	358	15.1%
週に1～2日	121	15.4%	310	39.3%	173	22.0%	604	25.5%
月に2～3回	22	2.8%	99	12.6%	178	22.6%	299	12.6%
月に1回以下	11	1.4%	43	5.5%	159	20.2%	213	9.0%
無回答	47	6.0%	131	16.6%	184	23.4%	362	15.3%
合計	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	2,364	100.0%



N=788

外出の主な時間帯

- 外出の主な時間帯全体として、出発時刻では「10時」(17.1%)が最も多く、次いで「9時」(13.5%)、「8時」(11.2%)となっており、到着時刻では「10時」(12.8%)、「11時」(9.4%)、「9時」(8.8%)となっています。
- また、最も頻度が高い移動の出発時刻は「7時」(21.4%)、到着時間は「8時」(19.2%)、2番目に頻度が高い移動及び3番目に頻度が多い移動については、出発時刻・到着時刻ともに「10時」が最も多くなっています。いずれも1時間程度の移動が多い傾向にあります。

時間帯	最も頻度が高い移動				2番目に頻度が高い移動				3番目に頻度が高い移動				全体			
	出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
5時	13	1.6%	5	0.6%	10	1.3%	3	0.4%	7	0.9%	4	0.5%	30	1.3%	12	0.5%
6時	68	8.6%	19	2.4%	9	1.1%	5	0.6%	15	1.9%	4	0.5%	92	3.9%	28	1.2%
7時	169	21.4%	76	9.6%	16	2.0%	4	0.5%	21	2.7%	8	1.0%	206	8.7%	88	3.7%
8時	166	21.1%	151	19.2%	53	6.7%	26	3.3%	46	5.8%	24	3.0%	265	11.2%	201	8.5%
9時	98	12.4%	92	11.7%	125	15.9%	61	7.7%	96	12.2%	56	7.1%	319	13.5%	209	8.8%
10時	110	14.0%	84	10.7%	161	20.4%	122	15.5%	134	17.0%	96	12.2%	405	17.1%	302	12.8%
11時	45	5.7%	58	7.4%	59	7.5%	97	12.3%	57	7.2%	68	8.6%	161	6.8%	223	9.4%
12時	15	1.9%	47	6.0%	26	3.3%	62	7.9%	27	3.4%	50	6.3%	68	2.9%	159	6.7%
13時	21	2.7%	26	3.3%	50	6.3%	35	4.4%	45	5.7%	35	4.4%	116	4.9%	96	4.1%
14時	17	2.2%	23	2.9%	25	3.2%	35	4.4%	14	1.8%	33	4.2%	56	2.4%	91	3.8%
15時	14	1.8%	24	3.0%	17	2.2%	37	4.7%	21	2.7%	35	4.4%	52	2.2%	96	4.1%
16時	8	1.0%	26	3.3%	29	3.7%	32	4.1%	23	2.9%	34	4.3%	60	2.5%	92	3.9%
17時	3	0.4%	28	3.6%	24	3.0%	33	4.2%	22	2.8%	34	4.3%	49	2.1%	95	4.0%
18時	4	0.5%	36	4.6%	29	3.7%	41	5.2%	30	3.8%	33	4.2%	63	2.7%	110	4.7%
19時	2	0.3%	23	2.9%	14	1.8%	21	2.7%	11	1.4%	18	2.3%	27	1.1%	62	2.6%
20時	0	0.0%	18	2.3%	3	0.4%	15	1.9%	2	0.3%	18	2.3%	5	0.2%	51	2.2%
21時	0	0.0%	3	0.4%	2	0.3%	8	1.0%	2	0.3%	11	1.4%	4	0.2%	22	0.9%
22時	0	0.0%	3	0.4%	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	11	0.5%
23時	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	3	0.4%	1	0.1%	2	0.3%	1	0.0%	6	0.3%
その他	7	0.9%	9	1.1%	14	1.8%	17	2.2%	16	2.0%	20	2.5%	37	1.6%	46	1.9%
無回答	28	3.6%	36	4.6%	122	15.5%	127	16.1%	198	25.1%	201	25.5%	348	14.7%	364	15.4%
合計	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	788	100.0%	2364	100.0%	2364	100.0%

出発地と目的地

- 出発地としては、「自宅」から目的地に移動する方が大半を占めています。
- 目的地として特に回答が多かったものは、「スーパー」(3.1%)や「病院」(2.6%)となっています。この他、市内外問わず多種多様な移動が見られました。

①出発地

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
自宅	747	94.8%	644	81.7%	593	75.3%	1,984	83.9%
刈谷市内	6	0.8%	7	0.9%	6	0.8%	19	0.8%
会社	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
安城市	0	0.0%	3	0.4%	1	0.1%	4	0.2%
幼稚園	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	2	0.1%

②目的地

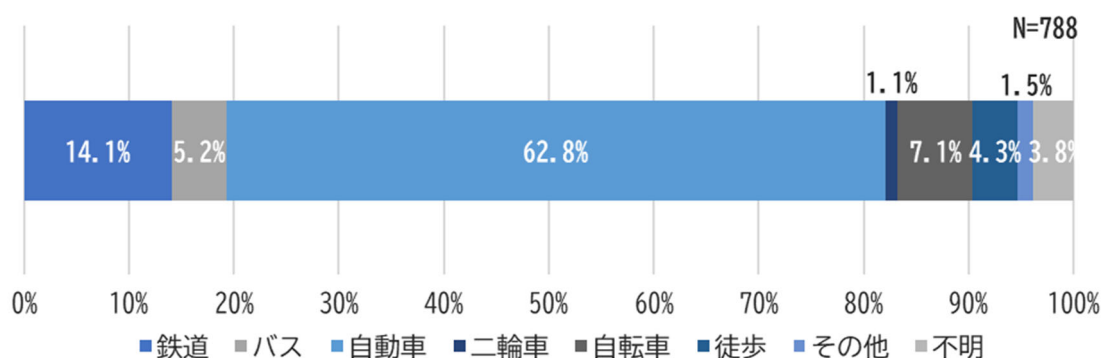
項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
スーパー	39	4.9%	27	3.4%	8	1.0%	74	3.1%
病院	12	1.5%	7	0.9%	15	1.9%	62	2.6%
刈谷駅	14	1.8%	18	2.3%	15	1.9%	58	2.5%
名古屋駅	13	1.6%	18	2.3%	24	3.0%	58	2.5%
会社	49	6.2%	4	0.5%	1	0.1%	4	0.2%

外出時の交通手段

- 頻度別、全体で見ても市民の半数以上が「自家用車（自分で運転）」で外出しており、「自家用車（家族などが運転）」含めると、外出の約7割で自家用車が利用されています。
- 交通手段分担率は、「自動車」（62.8%）が最も高く、次いで「鉄道」（14.1%）、「自転車」（7.1%）となっており、自動車への依存が高い傾向にあります。

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
JR東海道本線	85	10.8%	54	6.9%	73	9.3%	212	9.0%
名鉄名古屋本線	41	5.2%	32	4.1%	29	3.7%	102	4.3%
名鉄三河線	24	3.0%	15	1.9%	12	1.5%	51	2.2%
その他の鉄道路線	20	2.5%	6	0.8%	7	0.9%	33	1.4%
刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」	57	7.2%	52	6.6%	49	6.2%	158	6.7%
名鉄バス	6	0.8%	10	1.3%	4	0.5%	20	0.8%
知立市ミニバス	2	0.3%	1	0.1%	4	0.5%	7	0.3%
高浜市循環バスいきいき号	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
東浦町運行バスう・ら・ら	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%	3	0.1%
安城市あんくるバス	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
その他バス	10	1.3%	3	0.4%	2	0.3%	15	0.6%
タクシー	14	1.8%	5	0.6%	8	1.0%	27	1.1%
自家用車（自分で運転）	499	63.3%	493	62.6%	435	55.2%	1,427	60.4%
自家用車（家族などが運転）	122	15.5%	150	19.0%	141	17.9%	413	17.5%
原付・バイク	13	1.6%	13	1.6%	10	1.3%	36	1.5%
自転車	151	19.2%	97	12.3%	65	8.2%	313	13.2%
徒歩	190	24.1%	115	14.6%	124	15.7%	429	18.1%
その他	20	2.5%	7	0.9%	6	0.8%	33	1.4%
合計	1,255		1,053		972		3,280	

※頻度別の回答数はN=788で算出、合計の回答率はN=2,364で算出。



※交通手段分担率は「最も頻度が高い移動」に着目し、「鉄道（JR, 名鉄, その他）、バス（「かりまる」, 名鉄バス, 近隣市町のコミバス, その他バス）、自動車（タクシー, 自家用車（自分で運転）, 自家用車（家族などが運転））、二輪車（原付・バイク）、自転車、徒歩、その他」の順で設定し算出した。

【公共交通の満足度・重要度】

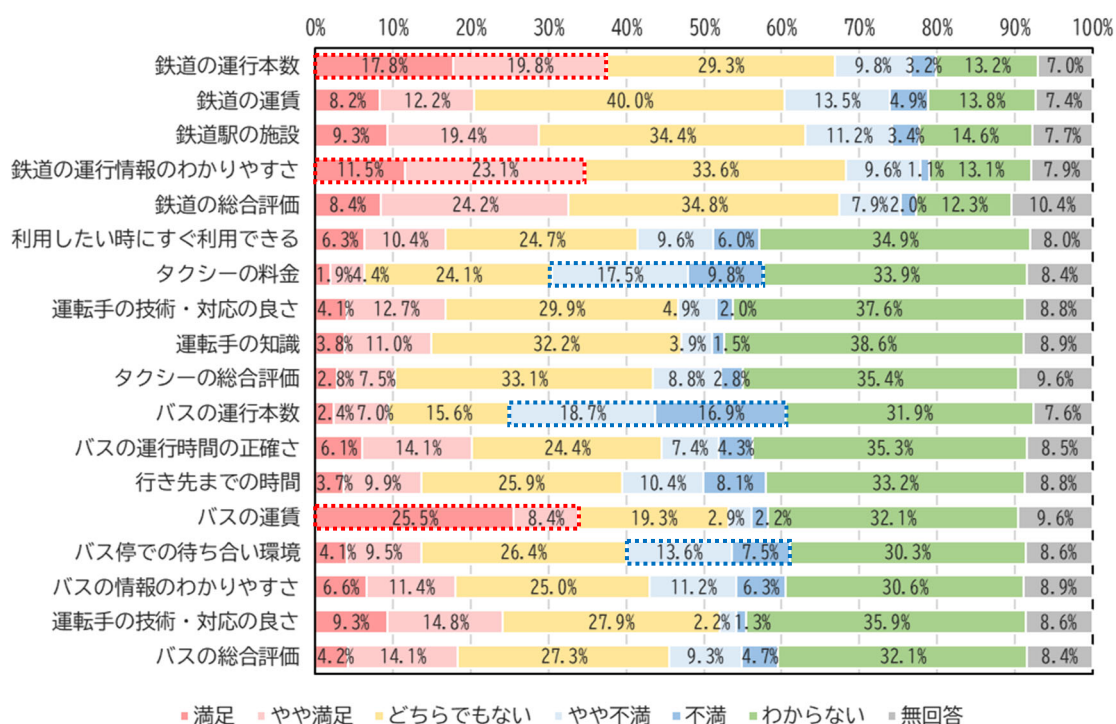
問 10

あなたが思う刈谷市内における現在の公共交通についての満足度とこれからの公共交通に対する重要度を教えてください。

公共交通の満足度

- 満足度（満足+やや満足）は、「鉄道の運行本数」（37.6%）が最も高く、次いで「鉄道の運行情報のわかりやすさ」（34.6%）、「バスの運賃」（33.9%）となっています。
- 不満度（やや不満+不満）は、「バスの運行本数」（35.5%）が最も高く、次いで「タクシーの料金」（27.3%）、「バス停での待ち合い環境」（21.1%）となっています。

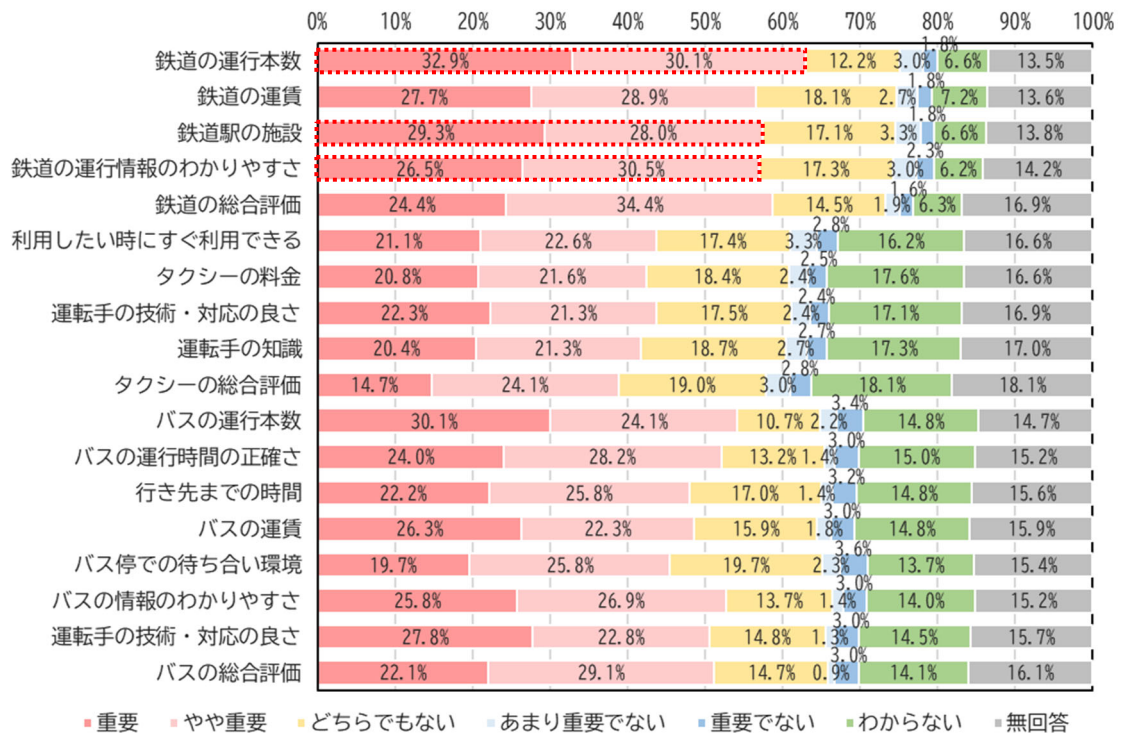
		満足度													
		満足		やや満足		どちらでもない		やや不満		不満		わからない		無回答	
鉄道	鉄道の運行本数	17.8%	140	19.8%	156	29.3%	231	9.8%	77	3.2%	25	13.2%	104	7.0%	55
	鉄道の運賃	8.2%	65	12.2%	96	40.0%	315	13.5%	106	4.9%	39	13.8%	109	7.4%	58
	鉄道駅の施設	9.3%	73	19.4%	153	34.4%	271	11.2%	88	3.4%	27	14.6%	115	7.7%	61
	鉄道の運行情報のわかりやすさ	11.5%	91	23.1%	182	33.6%	265	9.6%	76	1.1%	9	13.1%	103	7.9%	62
	鉄道の総合評価	8.4%	66	24.2%	191	34.8%	274	7.9%	62	2.0%	16	12.3%	97	10.4%	82
タクシー	利用したい時にすぐ利用できる	6.3%	50	10.4%	82	24.7%	195	9.6%	76	6.0%	47	34.9%	275	8.0%	63
	タクシーの料金	1.9%	15	4.4%	35	24.1%	190	17.5%	138	9.8%	77	33.9%	267	8.4%	66
	運転手の技術・対応の良さ	4.1%	32	12.7%	100	29.9%	236	4.9%	39	2.0%	16	37.6%	296	8.8%	69
	運転手の知識	3.8%	30	11.0%	87	32.2%	254	3.9%	31	1.5%	12	38.6%	304	8.9%	70
	タクシーの総合評価	2.8%	22	7.5%	59	33.1%	261	8.8%	69	2.8%	22	35.4%	279	9.6%	76
バス	バスの運行本数	2.4%	19	7.0%	55	15.6%	123	18.7%	147	16.9%	133	31.9%	251	7.6%	60
	バスの運行時間の正確さ	6.1%	48	14.1%	111	24.4%	192	7.4%	58	4.3%	34	35.3%	278	8.5%	67
	行き先までの時間	3.7%	29	9.9%	78	25.9%	204	10.4%	82	8.1%	64	33.2%	262	8.8%	69
	バスの運賃	25.5%	201	8.4%	66	19.3%	152	2.9%	23	2.2%	17	32.1%	253	9.6%	76
	バス停での待ち合い環境	4.1%	32	9.5%	75	26.4%	208	13.6%	107	7.5%	59	30.3%	239	8.6%	68
	バスの情報のわかりやすさ	6.6%	52	11.4%	90	25.0%	197	11.2%	88	6.3%	50	30.6%	241	8.9%	70
	運転手の技術・対応の良さ	9.3%	73	14.8%	117	27.9%	220	2.2%	17	1.3%	10	35.9%	283	8.6%	68
バスの総合評価	4.2%	33	14.1%	111	27.3%	215	9.3%	73	4.7%	37	32.1%	253	8.4%	66	



公共交通の重要度

●重要度（重要+やや重要）は、「鉄道の運行本数」（63.0%）が最も高く、次いで「鉄道駅の施設」（57.3%）、「鉄道の運行情報のわかりやすさ」（57.0%）となっており、「鉄道」に関する重要度が高い傾向にあります。

	重要度														
	重要		やや重要		どちらでもない		あまり重要でない		重要でない		わからない		無回答		
鉄道	鉄道の運行本数	32.9%	259	30.1%	237	12.2%	96	3.0%	24	1.8%	14	6.6%	52	13.5%	106
	鉄道の運賃	27.7%	218	28.9%	228	18.1%	143	2.7%	21	1.8%	14	7.2%	57	13.6%	107
	鉄道駅の施設	29.3%	231	28.0%	221	17.1%	135	3.3%	26	1.8%	14	6.6%	52	13.8%	109
	鉄道の運行情報のわかりやすさ	26.5%	209	30.5%	240	17.3%	136	3.0%	24	2.3%	18	6.2%	49	14.2%	112
	鉄道の総合評価	24.4%	192	34.4%	271	14.5%	114	1.9%	15	1.6%	13	6.3%	50	16.9%	133
タクシー	利用したい時にすぐ利用できる	21.1%	166	22.6%	178	17.4%	137	3.3%	26	2.8%	22	16.2%	128	16.6%	131
	タクシーの料金	20.8%	164	21.6%	170	18.4%	145	2.4%	19	2.5%	20	17.6%	139	16.6%	131
	運転手の技術・対応の良さ	22.3%	176	21.3%	168	17.5%	138	2.4%	19	2.4%	19	17.1%	135	16.9%	133
	運転手の知識	20.4%	161	21.3%	168	18.7%	147	2.7%	21	2.7%	21	17.3%	136	17.0%	134
	タクシーの総合評価	14.7%	116	24.1%	190	19.0%	150	3.0%	24	2.8%	22	18.1%	143	18.1%	143
バス	バスの運行本数	30.1%	237	24.1%	190	10.7%	84	2.2%	17	3.4%	27	14.8%	117	14.7%	116
	バスの運行時間の正確さ	24.0%	189	28.2%	222	13.2%	104	1.4%	11	3.0%	24	15.0%	118	15.2%	120
	行き先までの時間	22.2%	175	25.8%	203	17.0%	134	1.4%	11	3.2%	25	14.8%	117	15.6%	123
	バスの運賃	26.3%	207	22.3%	176	15.9%	125	1.8%	14	3.0%	24	14.8%	117	15.9%	125
	バス停での待ち合い環境	19.7%	155	25.8%	203	19.7%	155	2.3%	18	3.6%	28	13.7%	108	15.4%	121
	バスの情報のわかりやすさ	25.8%	203	26.9%	212	13.7%	108	1.4%	11	3.0%	24	14.0%	110	15.2%	120
	運転手の技術・対応の良さ	27.8%	219	22.8%	180	14.8%	117	1.3%	10	3.0%	24	14.5%	114	15.7%	124
	バスの総合評価	22.1%	174	29.1%	229	14.7%	116	0.9%	7	3.0%	24	14.1%	111	16.1%	127



【公共交通の認知度】

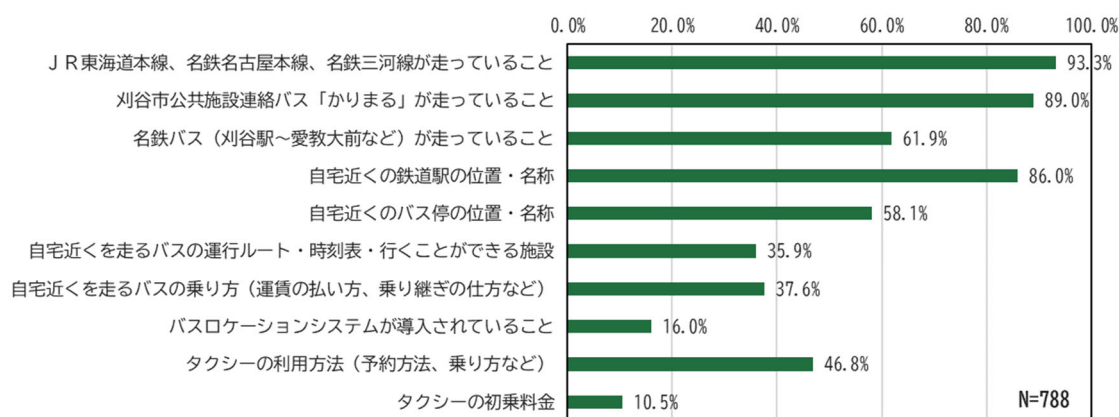
問 11

あなたが刈谷市内の公共交通について知っていることを教えてください。
(該当する項目全てに○)

- 刈谷市内の公共交通について、「JR 東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄三河線が走っていること」(93.3%) が最も認知度が高く、次いで「刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」が走っていること」(89.0%)、「自宅近くの鉄道駅の位置・名称」(86.0%) となっています。
- 一方、「タクシーの初乗料金」(10.5%) や「バスロケーションシステムが導入されていること」(16.0%) の認知度が低い結果となりました。

項目	回答数	回答率
JR東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄三河線が走っていること	735	93.3%
刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」が走っていること	701	89.0%
名鉄バス（刈谷駅～愛教大前など）が走っていること	488	61.9%
自宅近くの鉄道駅の位置・名称	678	86.0%
自宅近くのバス停の位置・名称	458	58.1%
自宅近くを走るバスの運行ルート・時刻表・行くことができる施設	283	35.9%
自宅近くを走るバスの乗り方（運賃の払い方、乗り継ぎの仕方など）	296	37.6%
バスロケーションシステムが導入されていること	126	16.0%
タクシーの利用方法（予約方法、乗り方など）	369	46.8%
タクシーの初乗料金	83	10.5%
無回答	23	2.9%
合計	4,240	

※回答率は N=788 で算出。



【コロナ禍の公共交通の利用】

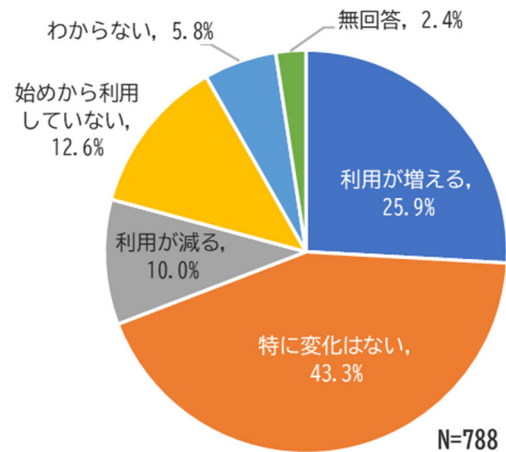
問 12

あなたの公共交通の利用は、コロナ拡大前と比較してコロナ収束後（コロナの影響がない未来）はどのようになると思いますか。（交通手段毎に該当する項目1つに○）

- コロナ拡大前と比較して、鉄道、バス、タクシーの全ての交通手段で「特に変化はない」と回答した市民が多い結果となっています。
- いずれの交通手段もコロナ拡大前から「利用が減る」と回答した割合が少なく、「鉄道」に至っては25.9%の市民がコロナ拡大前から「利用が増える」と回答しています。

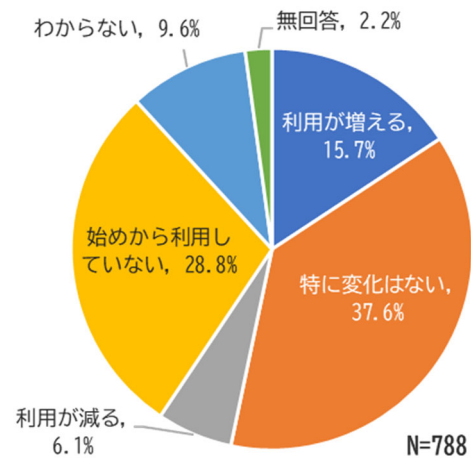
①鉄道

項目	回答数	回答率
利用が増える	204	25.9%
特に変化はない	341	43.3%
利用が減る	79	10.0%
始めから利用していない	99	12.6%
わからない	46	5.8%
無回答	19	2.4%
合計	788	100.0%



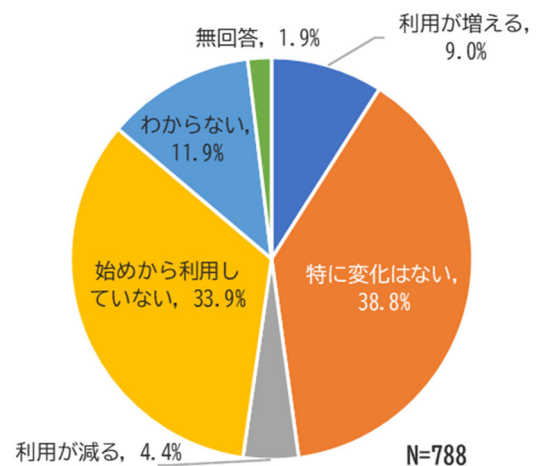
②バス

項目	回答数	回答率
利用が増える	124	15.7%
特に変化はない	296	37.6%
利用が減る	48	6.1%
始めから利用していない	227	28.8%
わからない	76	9.6%
無回答	17	2.2%
合計	788	100.0%



③タクシー

項目	回答数	回答率
利用が増える	71	9.0%
特に変化はない	306	38.8%
利用が減る	35	4.4%
始めから利用していない	267	33.9%
わからない	94	11.9%
無回答	15	1.9%
合計	788	100.0%



【バスの利用】

問 13

あなたはこの1年の間に刈谷市内を通るバスを利用しましたか。バスを利用した方は、利用したバス路線などを教えてください。（該当する項目全てに○）

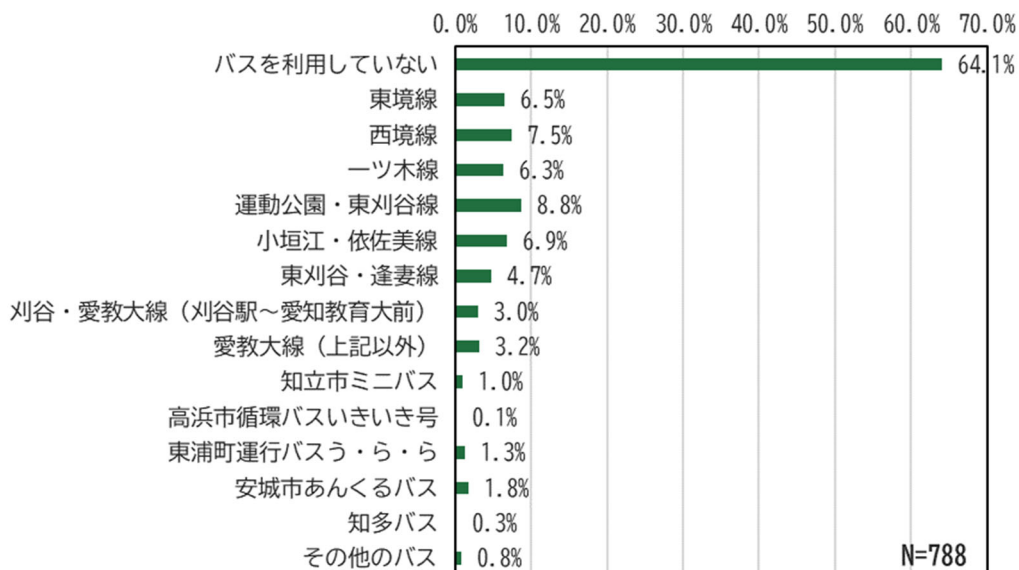
- 直近1年間で刈谷市内を通るバスを利用した市民の割合は26.5%となっており、6割以上の市民がバスを利用していない結果となっています。
- 利用されているバスは、公共施設連絡バス「かりまる」の運動公園・東刈谷線（8.8%）が最も多く、次いで「西境線」（7.5%）、「小垣江・依佐美線」（6.9%）となっています。
- 近隣市町のコミュニティバスについては、ほとんど利用されていない傾向にあります。

項目	回答数	回答率
バスを利用していない	505	64.1%
バスを利用した	209	26.5%
無回答	74	9.4%
合計	788	100.0%

N=209

利用したバス	回答数	回答率
東境線	51	6.5%
西境線	59	7.5%
一ツ木線	50	6.3%
運動公園・東刈谷線	69	8.8%
小垣江・依佐美線	54	6.9%
東刈谷・逢妻線	37	4.7%
刈谷・愛教大線（刈谷駅～愛知教育大前）	24	3.0%
愛教大線（上記以外）	25	3.2%
知立市ミニバス	8	1.0%
高浜市循環バスいきいき号	1	0.1%
東浦町運行バスう・ら・ら	10	1.3%
安城市あんくるバス	14	1.8%
知多バス	2	0.3%
その他のバス	6	0.8%
合計	410	

※回答率はN=788で算出。



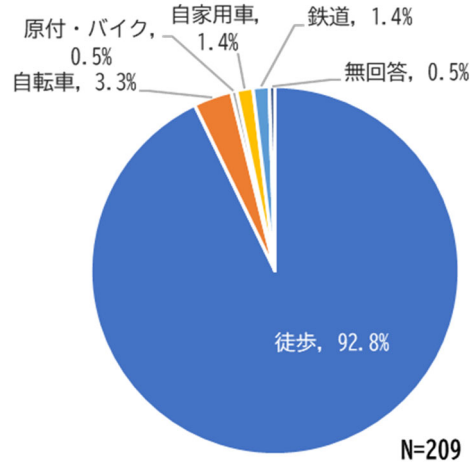
問 14

あなたがバスを利用する際の交通手段や利用頻度、利用目的などについて教えてください。(問 13 で「バスを利用した」を選択した方のみ回答)

自宅から乗車バス停までの主な交通手段

- 自宅から乗車バス停までの主な交通手段は、「徒歩」(92.8%)が大半を占めています。

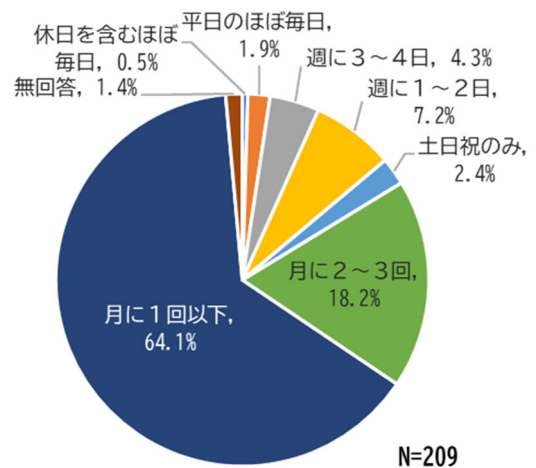
項目	回答数	回答率
徒歩	194	92.8%
自転車	7	3.3%
原付・バイク	1	0.5%
自家用車	3	1.4%
鉄道	3	1.4%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.5%
合計	209	100.0%



利用頻度

- バスの利用頻度は、「月に1回以下」(64.1%)が最も多く、次いで「月に2～3回」(18.2%)、「週に1～2回」(7.2%)となっており、頻度が高くなるにつれて利用率が低くなる傾向にあります。

項目	回答数	回答率
休日を含むほぼ毎日	1	0.5%
平日のほぼ毎日	4	1.9%
週に3～4日	9	4.3%
週に1～2日	15	7.2%
土日祝のみ	5	2.4%
月に2～3回	38	18.2%
月に1回以下	134	64.1%
無回答	3	1.4%
合計	209	100.0%

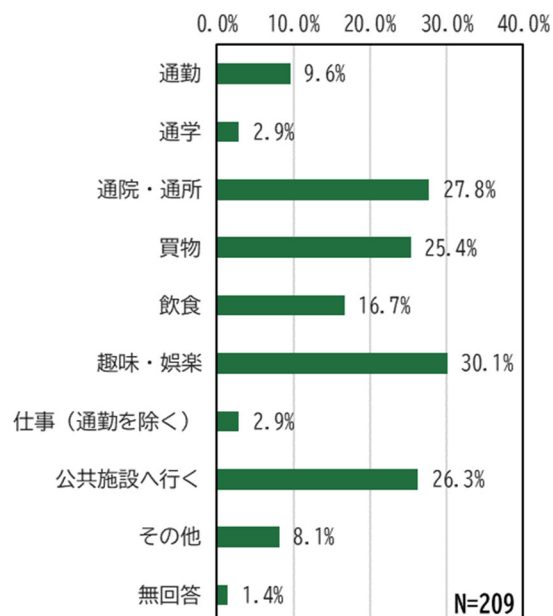


利用目的

- バスの利用目的は、「趣味・娯楽」(30.1%)が最も多く、次いで「通院・通所」(27.8%)、「公共施設へ行く」(26.3%)となっています。
- 「通学」でバスを利用している市民は2.9%と少ない傾向にあります。

項目	回答数	回答率
通勤	20	9.6%
通学	6	2.9%
通院・通所	58	27.8%
買物	53	25.4%
飲食	35	16.7%
趣味・娯楽	63	30.1%
仕事（通勤を除く）	6	2.9%
公共施設へ行く	55	26.3%
その他	17	8.1%
無回答	3	1.4%
合計	316	

※回答率は N=209 で算出。

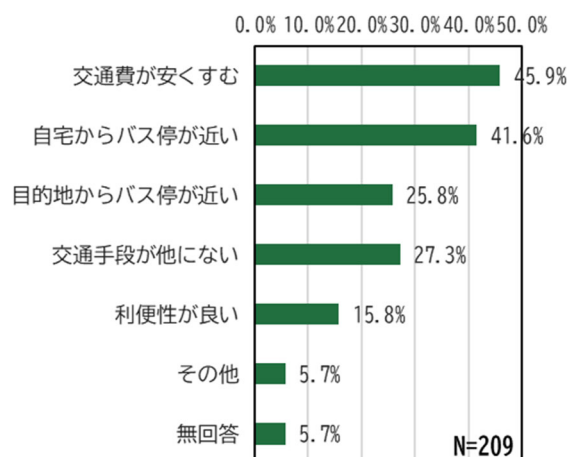


バスを利用する理由

- バスを利用する理由は、「交通費が安くすむ」(45.9%)が最も多く、次いで「自宅からバス停が近い」(41.6%)、「交通手段が他にない」(27.3%)となっている一方、「利便性が良い」(15.8%)はやや低いことから、経済的・物理的な視点から利用していることがわかります。

項目	回答数	回答率
交通費が安くすむ	96	45.9%
自宅からバス停が近い	87	41.6%
目的地からバス停が近い	54	25.8%
交通手段が他にない	57	27.3%
利便性が良い	33	15.8%
その他	12	5.7%
無回答	12	5.7%
合計	351	

※回答率は N=209 で算出。



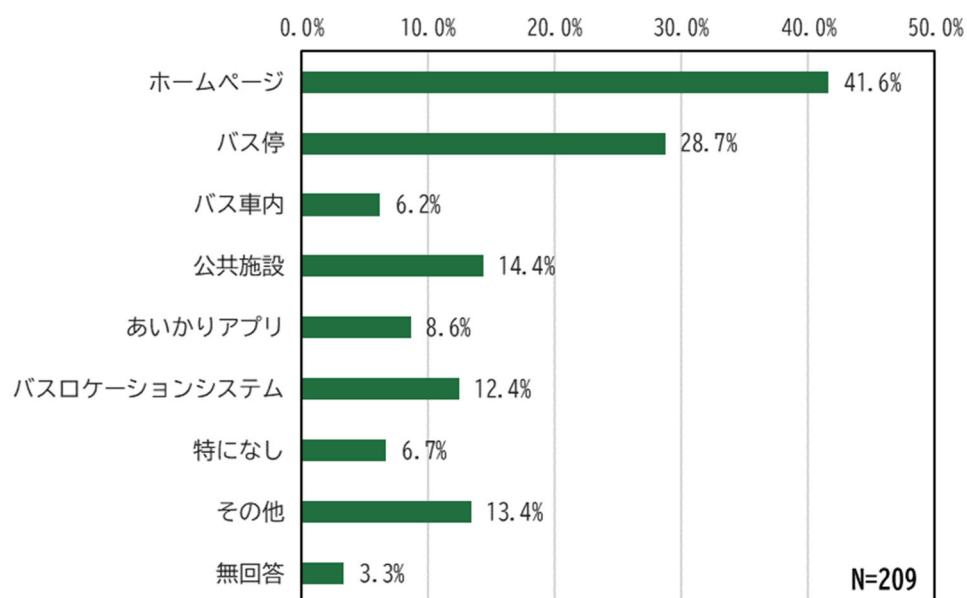
バスに関する情報の入手方法

- バスに関する情報は「ホームページ」(41.6%)で入手している割合が高く、次いで「バス停」(28.7%)、「公共施設」(14.4%)となっています。
- 「その他」としては、「かりまるバスガイド」が利用されています。

項目	回答数	回答率
ホームページ	87	41.6%
バス停	60	28.7%
バス車内	13	6.2%
公共施設	30	14.4%
あいかりアプリ	18	8.6%
バスロケーションシステム	26	12.4%
特になし	14	6.7%
その他	28	13.4%
無回答	7	3.3%

その他 (N=28)	回答数
かりまるバスガイド	11
キャッチ	5
市民だより	3
アプリ	2
時刻表	2
市役所	1
Googleマップ	1
新聞	1
チラシ	2
合計	28

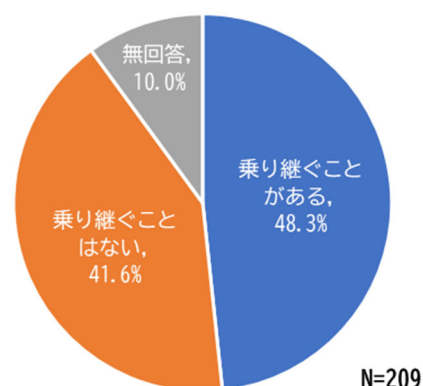
※回答率は N=209 で算出。



バスから他の公共交通機関への乗り継ぎの有無

- バスからの他の公共交通機関への乗り継ぎは、概ね同程度ではありますが、やや「乗り継ぐことがある」と回答した割合が高くなっています。

項目	回答数	回答率
乗り継ぐことがある	101	48.3%
乗り継ぐことはない	87	41.6%
無回答	21	10.0%
合計	209	100.0%



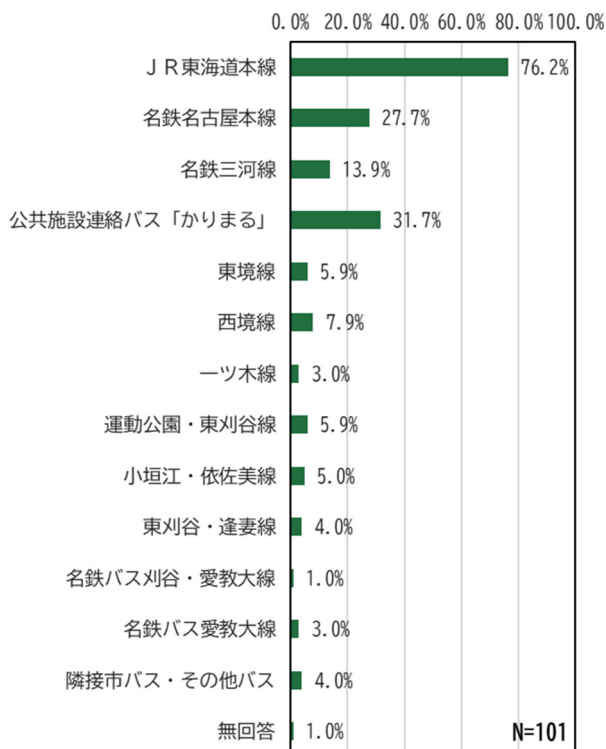
バスから乗り継ぐ公共交通機関

※【他の公共交通機関への乗り継ぐことがある】と選択した方のみ回答

- バスからの乗り継ぎ先として、「JR東海道本線」(76.2%)が最も多く、全体の約8割を占めています。また、「公共施設連絡バス「かりまる」」(31.7%)、「名鉄名古屋本線」(27.7%)となっており、バスから鉄道、バスからバス間の乗り継ぎが一定程度見られます。
- また、「公共施設連絡バス「かりまる」」の路線別では、西境線(7.9%)への乗り継ぎが多い傾向にあります。

項目	回答数	回答率	
JR東海道本線	77	76.2%	
名鉄名古屋本線	28	27.7%	
名鉄三河線	14	13.9%	
公共施設連絡バス「かりまる」	32	31.7%	
路線別	東境線	6	5.9%
	西境線	8	7.9%
	一ツ木線	3	3.0%
	運動公園・東刈谷線	6	5.9%
	小垣江・依佐美線	5	5.0%
	東刈谷・逢妻線	4	4.0%
名鉄バス刈谷・愛教大線	1	1.0%	
名鉄バス愛教大線	3	3.0%	
隣接市バス・その他バス	4	4.0%	
無回答	1	1.0%	
合計	160		

※回答率はN=101で算出。

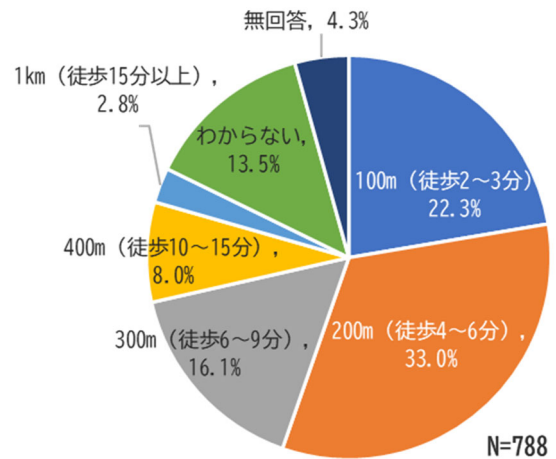


問 15

あなたは自宅からバス停までの程度の距離（時間）ならバスを利用しますか。
（該当する項目1つに○）

- 自宅からバス停までの許容距離として、「200m（徒歩 4～6 分）」（33.0%）が最も多く、次いで「100m（徒歩 2～3 分）」（22.3%）、「300m（徒歩 6～9 分）」（16.1%）となっており、自宅から 200m 以内でバス停を望む市民が半数程度となっています。

項目	回答数	回答率
100m（徒歩2～3分）	176	22.3%
200m（徒歩4～6分）	260	33.0%
300m（徒歩6～9分）	127	16.1%
400m（徒歩10～15分）	63	8.0%
1km（徒歩15分以上）	22	2.8%
わからない	106	13.5%
無回答	34	4.3%
合計	788	100.0%



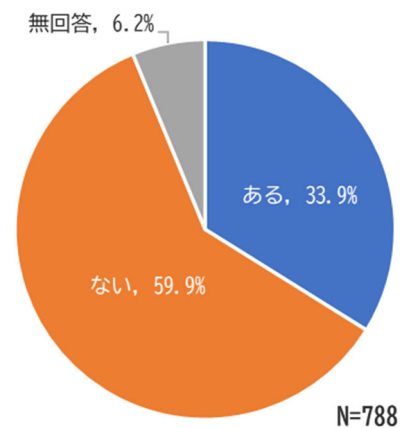
問 16

あなたはバスで行きたい目的地（施設）はありますか。「ある」場合は、その施設名を教えてください。（刈谷市外も含む）

バスで行きたい施設の有無

- バスで行きたい目的地（施設）があると回答した市民は 33.9% となっています。

項目	回答数	回答率
ある	267	33.9%
ない	472	59.9%
無回答	49	6.2%
合計	788	100.0%

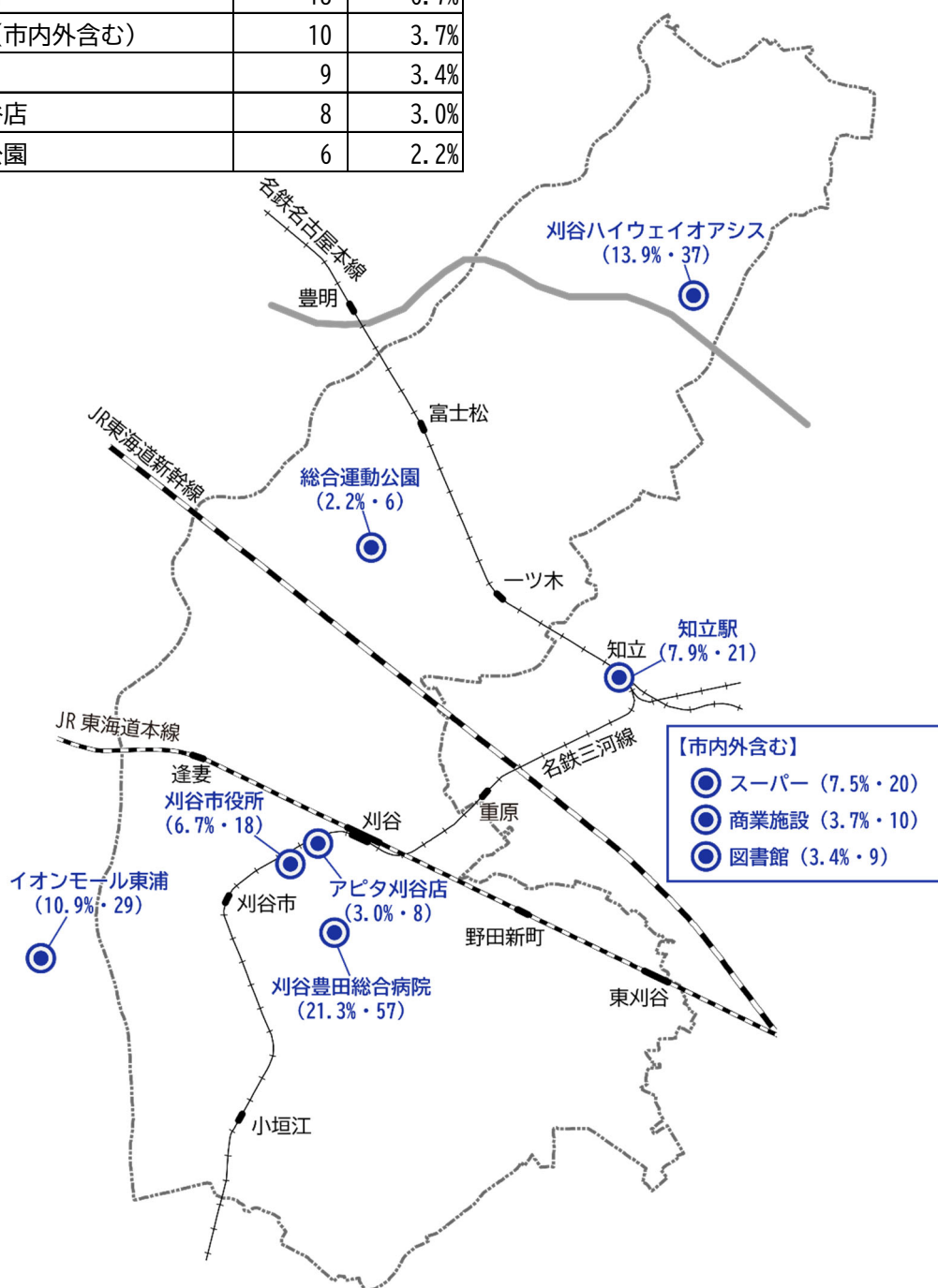


バスで行きたい目的地（施設）

●バスで行きたい目的地（施設）として、「刈谷豊田総合病院」が最も多く、次いで「刈谷ハイウェイオアシス」（13.9%）、「イオンモール東浦」（10.9%）となっています。

N=267

項目	回答数	回答率
刈谷豊田総合病院	57	21.3%
刈谷ハイウェイオアシス	37	13.9%
イオンモール東浦	29	10.9%
知立駅	21	7.9%
スーパー（市内外含む）	20	7.5%
刈谷市役所	18	6.7%
商業施設（市内外含む）	10	3.7%
図書館	9	3.4%
アピタ刈谷店	8	3.0%
総合運動公園	6	2.2%



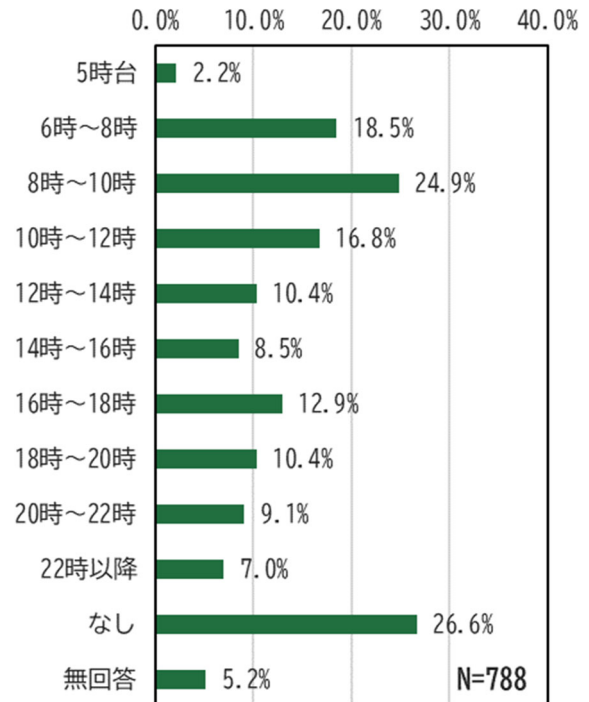
問 17

あなたがバスを利用する際、バスの運行が充実すると使い勝手が良くなる時間帯または今後、バスを利用してみたい時間帯はあるか教えてください。
(該当する項目2つまで○)

- 使い勝手がよくなるまたは今後利用してみたい時間帯としては、「8～10時」(24.9%)が最も多く、次いで「6～8時」(18.5%)、「10～12時」(16.8%)となっており、午前中の時間帯でのニーズが高い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
5時台	17	2.2%
6時～8時	146	18.5%
8時～10時	196	24.9%
10時～12時	132	16.8%
12時～14時	82	10.4%
14時～16時	67	8.5%
16時～18時	102	12.9%
18時～20時	82	10.4%
20時～22時	72	9.1%
22時以降	55	7.0%
なし	210	26.6%
無回答	41	5.2%
合計	1,202	

※回答率は N=788 で算出。



問 18

あなたが思うバスからバスへの乗り継ぎや鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎに求めるもの、もしくは乗り継ぎ利用の決め手となるものを教えてください。
（該当する項目2つまで○）

バスからバスへの乗り継ぎ

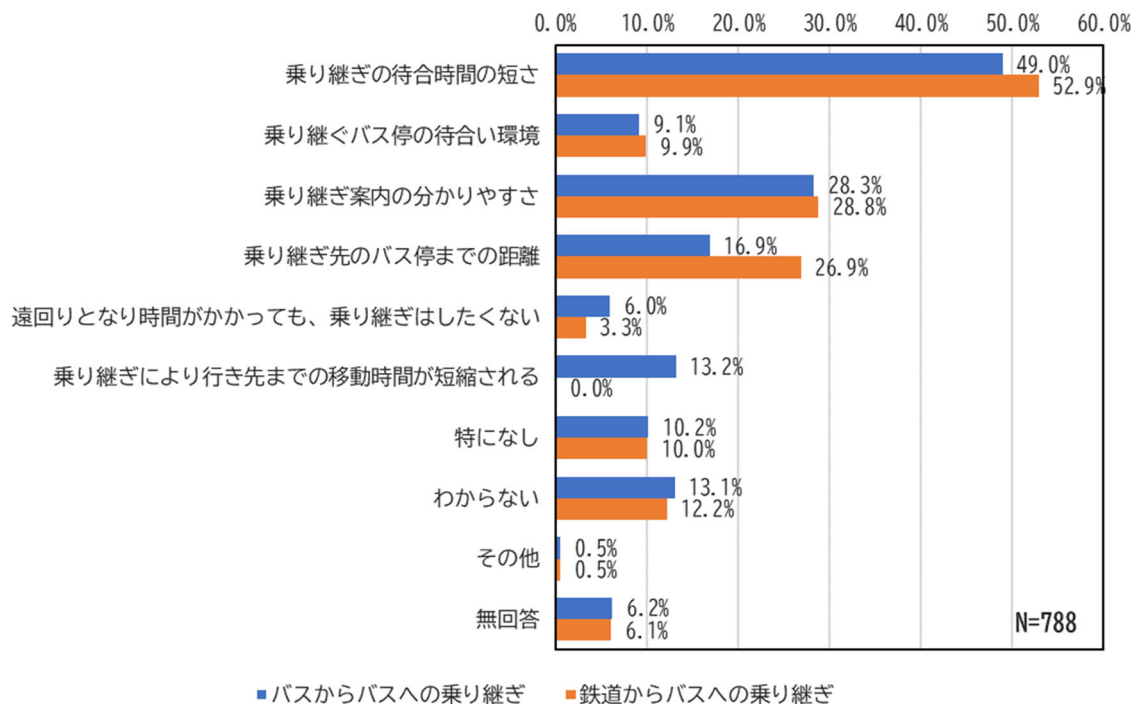
- バスからバスへの乗り継ぎに求めるものは、「乗り継ぎの待合時間の短さ」（49.0%）が最も多く、次いで「乗り継ぎ案内の分かりやすさ」（28.3%）、「乗り継ぎ先のバス停までの距離」（16.9%）となっています。

鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎ

- 鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎに求めるものは、「乗り継ぎの待合時間の短さ」（52.9%）が最も多く、次いで「乗り継ぎ案内の分かりやすさ」（28.8%）、「乗り継ぎ先のバス停までの距離」（26.9%）となっています。

項目	バスからバスへの乗り継ぎ		鉄道からバスへの乗り継ぎ	
	回答数	回答率	回答数	回答率
乗り継ぎの待合時間の短さ	386	49.0%	417	52.9%
乗り継ぐバス停の待合い環境	72	9.1%	78	9.9%
乗り継ぎ案内の分かりやすさ	223	28.3%	227	28.8%
乗り継ぎ先のバス停までの距離	133	16.9%	212	26.9%
遠回りとなり時間がかかっても、乗り継ぎはしたくない	47	6.0%	26	3.3%
乗り継ぎにより行き先までの移動時間が短縮される	104	13.2%		
特になし	80	10.2%	79	10.0%
わからない	103	13.1%	96	12.2%
その他	4	0.5%	4	0.5%
無回答	49	6.2%	48	6.1%
合計	1,201		1,187	

※回答率はN=788で算出。



(2) クロス集計

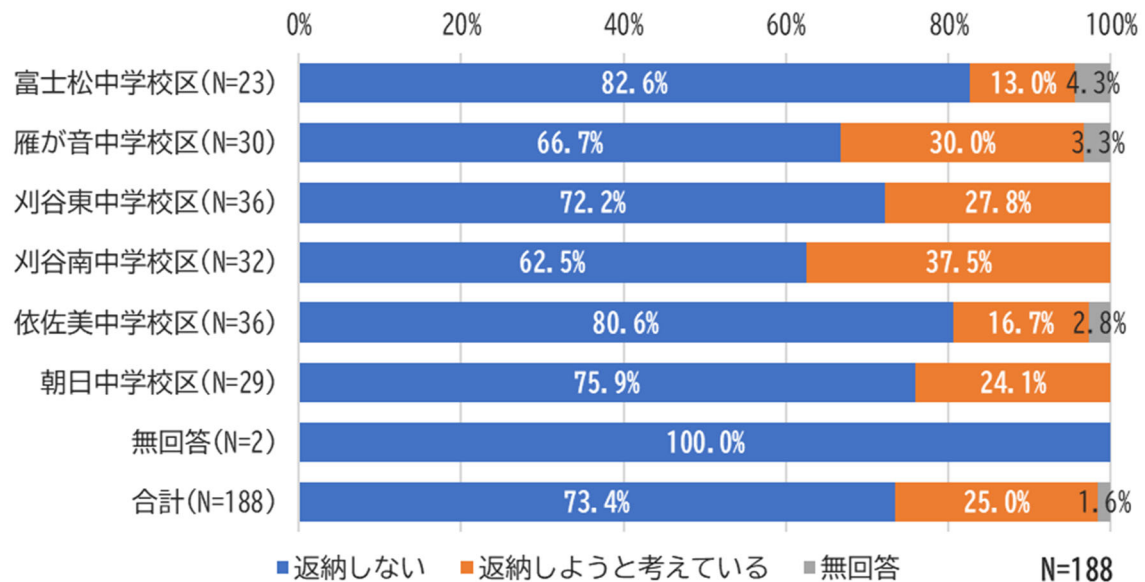
各地域の公共交通に関する利用者ニーズをより詳細に把握するために、地域別（中学校区別）に市民を対象としたアンケート調査結果を整理します。

【自動車の運転免許返納意向】・・・計画編 45 頁

問6

あなたは今後、自ら運転免許を返納しようとお考えですか。（該当する項目1つに○）
※自動車運転免許をお持ちの65歳以上の方のみ回答

- 刈谷南中学校区では運転免許を「返納しようと考えている」と回答している方が37.5%と最も高く、次いで雁が音中学校区（30.0%）、刈谷東中学校区（27.8%）、朝日中学校区（19.7%）、依佐美中学校区（16.7%）となっており、富士松中学校区が13.0%と最も低くなっています。

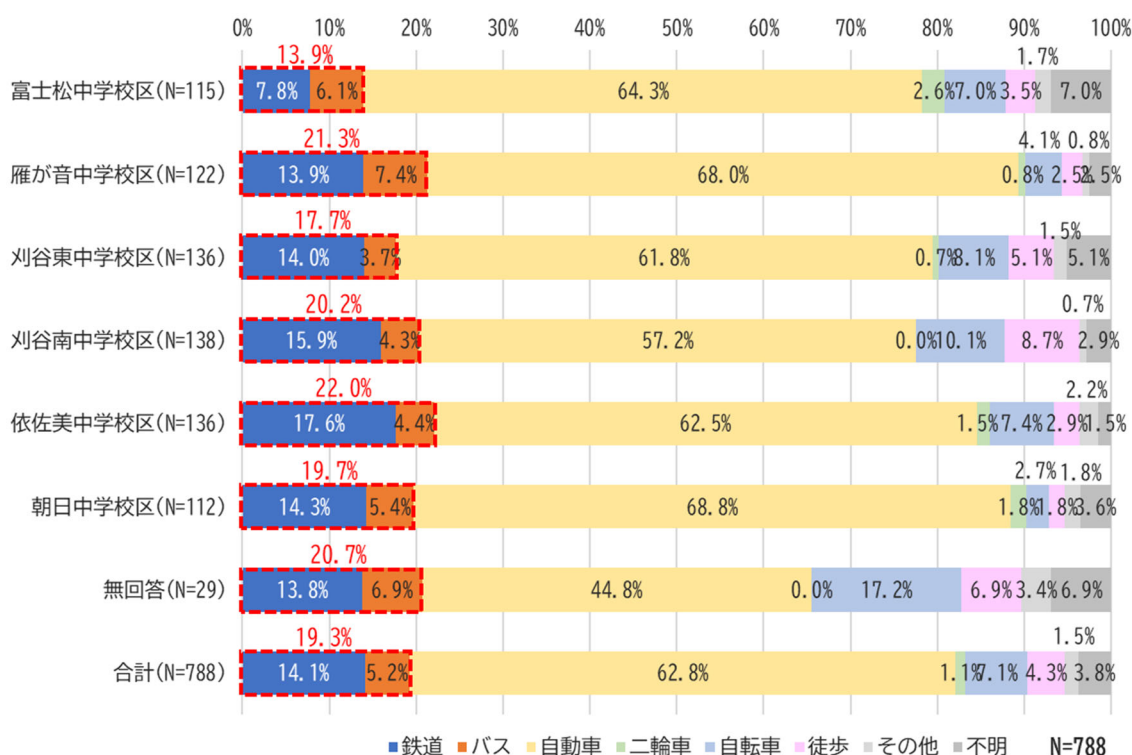


【日常生活における代表交通手段の利用割合】・・・計画編 45 頁

問9

あなたの現在の外出のうち、「最も頻度が高い移動」「2番目に頻度が高い移動」「3番目に頻度が高い移動」について、それぞれの外出の目的、頻度、主な時間帯、出発地と目的地、交通手段を教えてください。(刈谷市外への外出も含む)

- 「公共交通」の利用割合（鉄道とバスの利用割合の合計）は、依佐美中学校区（22.0%）が最も高く、次いで雁が音中学校区（21.3%）、刈谷南中学校区（20.2%）、朝日中学校区（19.7%）、刈谷東中学校区（17.7%）となっており、富士松中学校区（13.9%）が最も低くなっています。
- 「自動車」の利用割合は、朝日中学校区（68.8%）、刈谷南中学校区（57.2%）が高く、「徒歩・自転車」の利用割合は刈谷南中学校区（18.8%）や刈谷東中学校区（13.2%）が高くなっています。



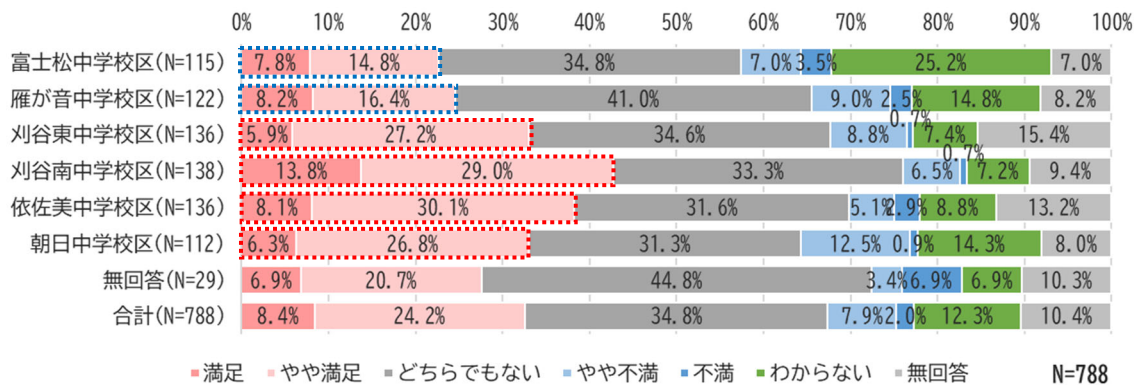
問 10

あなたが思う刈谷市内における現在の公共交通についての満足度とこれからの公共交通に対する重要度を教えてください。

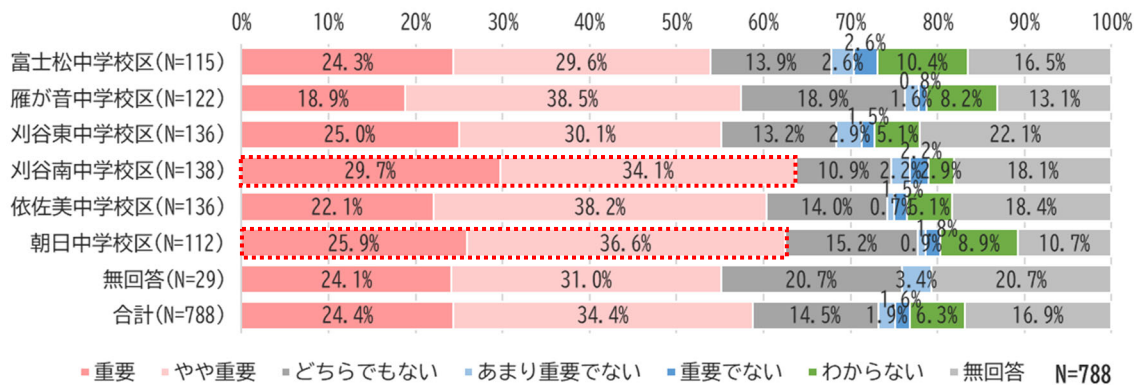
鉄道の総合評価（満足度・重要度）

- 満足度については、刈谷南中学校区(42.8%)で最も高く、次いで依佐美中学校区(38.2%)、刈谷東中学校区(33.1)、朝日中学校区(33.1%)となっており、富士松中学校区(22.6%)や雁が音中学校区(24.6%)で低くなっています。
- 重要度については、刈谷南中学校区(63.8%)や朝日中学校区(62.5%)で高くなっています。

鉄道の総合評価（満足度）



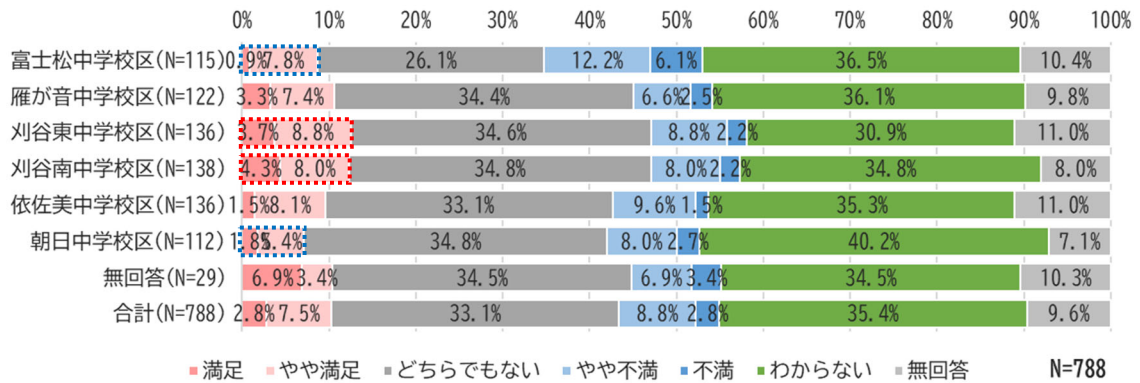
鉄道の総合評価（重要度）



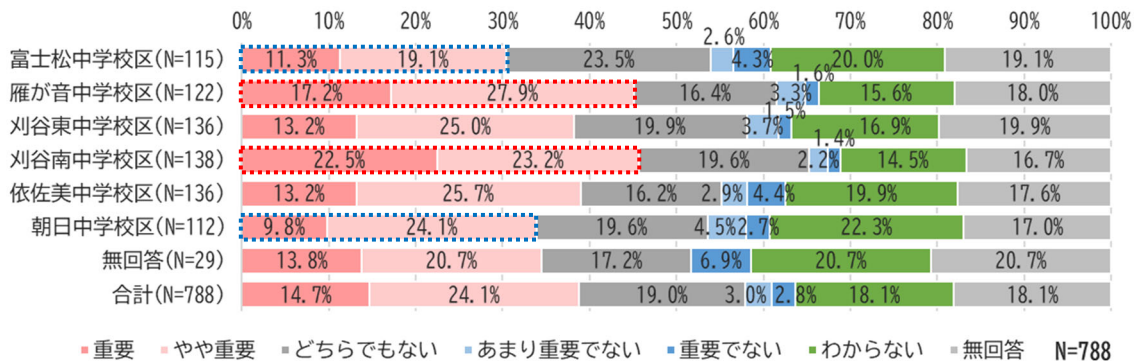
タクシーの総合評価（満足度・重要度）

- 満足度については、刈谷東中学校区(12.5%)で最も高く、次いで刈谷南中学校区(12.3%)となっており、朝日中学校区(7.2%)や富士松中学校区(8.7%)で低くなっています。
- 重要度については、刈谷南中学校区(45.7%)や雁が音中学校区(45.1%)で高くなっており、富士松中学校区(30.4%)や朝日中学校区(33.9%)で低くなっています。

タクシーの総合評価（満足度）



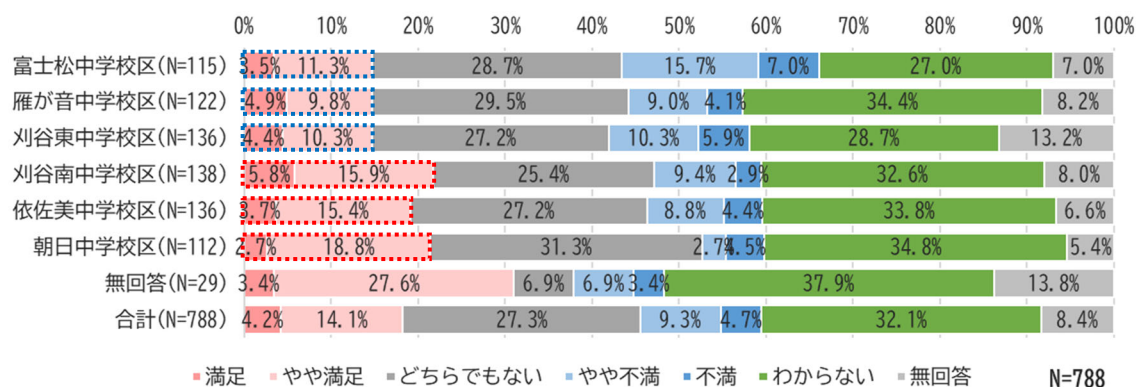
タクシーの総合評価（重要度）



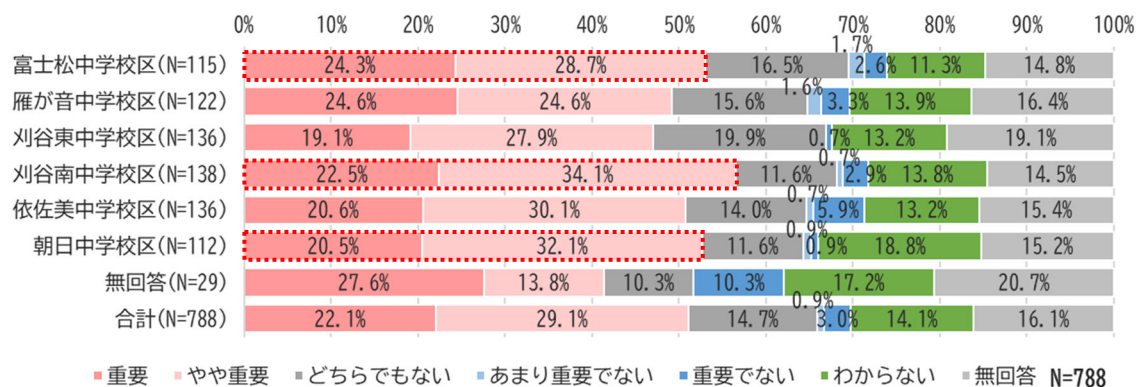
バスの総合評価（満足度・重要度）

- 満足度については、刈谷南中学校区(21.7%)で最も高く、次いで朝日中学校区(21.5%)、依佐美中学校区(19.1%)となっており、雁が音中学校区(14.7%)、刈谷東中学校区(14.7%)、富士松中学校区(14.8%)で低くなっています。
- 重要度については、刈谷南中学校区(56.6%)、富士松中学校区(53.0%)、朝日中学校区(52.6%)で高くなっています。

バスの総合評価（満足度）



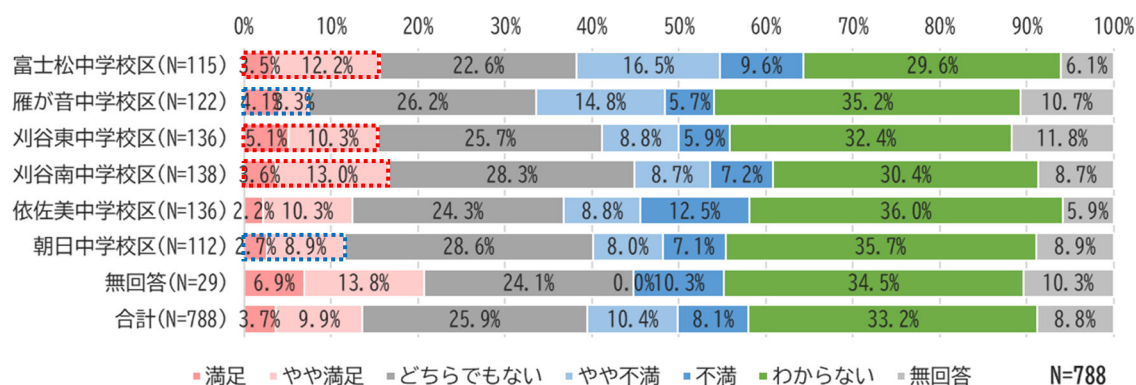
バスの総合評価（重要度）



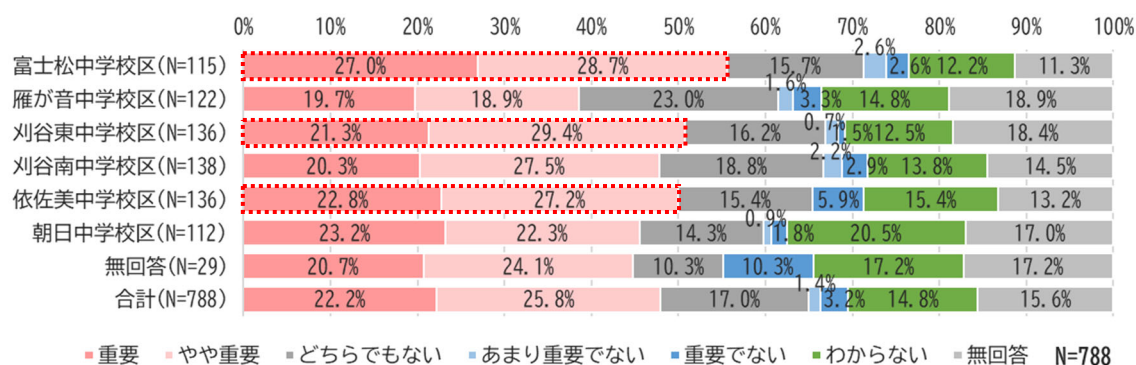
バスの行き先までの所要時間（満足度・重要度）

- 満足度については、刈谷南中学校区（16.6%）、富士松中学校区（15.7%）、刈谷東中学校区（15.4%）で高くなっており、雁が音中学校区（7.4%）や朝日中学校区（11.6%）で低くなっています。
- 重要度については、富士松中学校区（55.7%）で最も高く、次いで刈谷東中学校区（50.7%）、依佐美中学校区（50.0%）となっています。

バスの行き先までの所要時間（満足度）



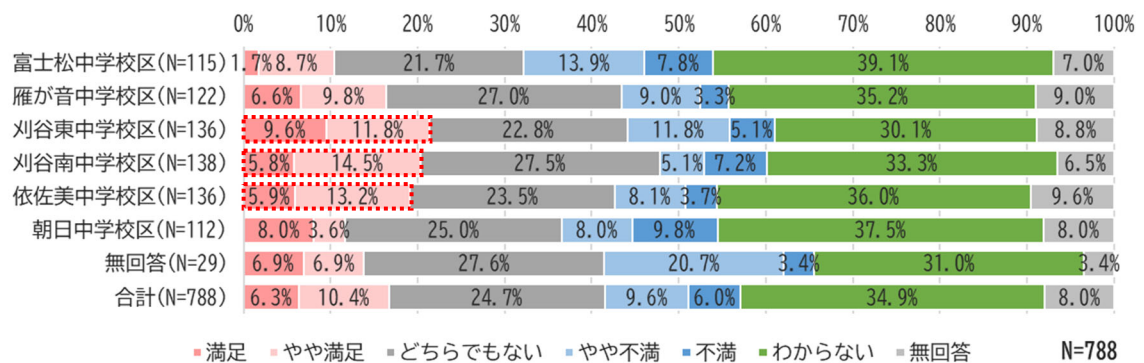
バスの行き先までの所要時間（重要度）



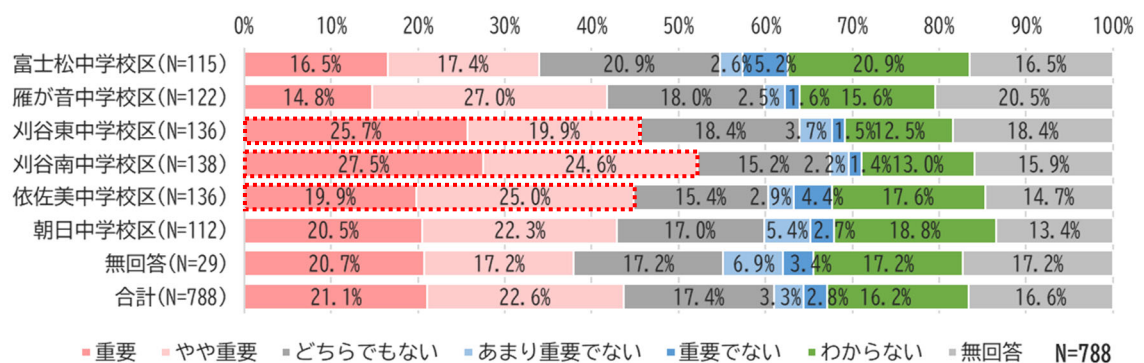
タクシーの利用しやすさ（満足度・重要度）

- 満足度については、刈谷東中学校区（21.4%）、刈谷南中学校区（20.3%）、依佐美中学校区（19.1%）で高くなっています。
- 重要度については、刈谷南中学校区（52.1%）、刈谷東中学校区（45.6%）、依佐美中学校区（44.9%）で高くなっています。

タクシーの利用しやすさ（満足度）



タクシーの利用しやすさ（重要度）



問 14

あなたがバスを利用する際の交通手段や利用頻度、利用目的などについて教えてください。(問 13 で「バスを利用した」を選択した方のみ回答)

よく利用するバス停の区間

- よく利用するバス停区間を基に、中学校区別の OD 分析をした結果、「刈谷南中学区」内でのバス利用が最も多く、次いで「雁が音中学校区⇒刈谷東中学校区」、「朝日中学校区⇒刈谷南中学校区」への移動が多い傾向にあります。

①中学校区別OD量

		到着バス停							
		富士松 中学校区	雁が音 中学校区	刈谷東 中学校区	刈谷南 中学校区	依佐美 中学校区	朝日 中学校区	市外	合計
出 発 バ ス 停	富士松 中学校区	15	4	14	5	0	0	11	49
	雁が音 中学校区	3	2	32	14	0	0	0	51
	刈谷東 中学校区	5	7	18	18	0	0	0	48
	刈谷南 中学校区	2	7	5	33	7	4	2	60
	依佐美 中学校区	0	0	0	29	5	0	0	34
	朝日 中学校区	0	0	1	31	4	6	0	42
	市外	4	0	0	0	0	0	2	6
	合計	29	20	70	130	16	10	15	290

②中学校区別OD割合 (%)

		到着バス停							
		富士松 中学校区	雁が音 中学校区	刈谷東 中学校区	刈谷南 中学校区	依佐美 中学校区	朝日 中学校区	市外	合計
出 発 バ ス 停	富士松 中学校区	30.6	8.2	28.6	10.2	0.0	0.0	22.4	100.0
	雁が音 中学校区	5.9	3.9	62.7	27.5	0.0	0.0	0.0	100.0
	刈谷東 中学校区	10.4	14.6	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	100.0
	刈谷南 中学校区	3.3	11.7	8.3	55.0	11.7	6.7	3.3	100.0
	依佐美 中学校区	0.0	0.0	0.0	85.3	14.7	0.0	0.0	100.0
	朝日 中学校区	0.0	0.0	2.4	73.8	9.5	14.3	0.0	100.0
	市外	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0

OD割合20%以上

問 16

あなたはバスで行きたい目的地（施設）はありますか。「ある」場合は、その施設名を教えてください。（刈谷市外も含む）

バスで行きたい目的地（施設）

- 中学校区別では、各中学校区ともニーズの多い施設（上位 5 箇所前後）は市全体のニーズと大きな違いはみられないものの、上位 6～10 位の施設はそれぞれの中学校区で異なるニーズが見られます。

富士松中学校区 N=43

項目	回答数	回答率	全体順位
刈谷豊田総合病院	8	18.6%	1
ハイウェイオアシス	7	16.3%	2
知立駅	6	14.0%	4
刈谷市役所	4	9.3%	6
豊明駅	3	7.0%	15
イオンモール東浦	2	4.7%	3
商業施設	2	4.7%	7
藤田医科大学病院	2	4.7%	15
イオンモール大高	2	2.7%	24
ららぽーと愛知東郷	2	4.7%	29

雁が音中学校区 N=37

項目	回答数	回答率	全体順位
知立駅	6	16.2%	4
刈谷豊田総合病院	5	13.5%	1
イオンモール東浦	4	10.8%	3
スーパー	4	10.8%	5
図書館	4	10.8%	8
アピタ刈谷店	2	5.4%	10
美術館	2	5.4%	15
保健センター	2	5.4%	24
温泉施設	2	5.4%	24
ハイウェイオアシス	1	2.7%	2

刈谷東中学校区 N=52

項目	回答数	回答率	全体順位
刈谷豊田総合病院	13	25.0%	1
イオンモール東浦	8	15.4%	3
ハイウェイオアシス	5	9.6%	2
刈谷市役所	5	9.6%	6
スーパー	4	7.7%	5
知立駅	2	3.8%	4
アピタ刈谷店	2	3.8%	10
かきつばたの湯 (刈谷ハイウェイオアシス)	2	3.8%	29
商業施設	1	1.9%	7
総合運動公園	1	1.9%	11

刈谷東中学校区 N=43

項目	回答数	回答率	全体順位
ハイウェイオアシス	9	20.9%	2
刈谷豊田総合病院	7	16.3%	1
イオンモール東浦	5	11.6%	3
刈谷市役所	4	9.3%	6
スーパー	2	4.7%	5
商業施設	2	4.7%	7
総合運動公園	2	4.7%	11
公園	2	4.7%	11
藤田医科大学病院	2	4.7%	15
東刈谷駅	2	4.7%	19

依佐美中学校区 N=52

項目	回答数	回答率	全体順位
刈谷豊田総合病院	11	21.2%	1
ハイウェイオアシス	8	15.4%	2
イオンモール東浦	6	11.5%	3
知立駅	5	9.6%	4
スーパー	5	9.6%	5
アピタ刈谷店	3	5.8%	10
公園	3	5.8%	11
小垣江駅	3	5.8%	19
刈谷市役所	2	3.8%	6
商業施設	2	3.8%	7

朝日中学校区 N=30

項目	回答数	回答率	全体順位
刈谷豊田総合病院	13	43.3%	1
ハイウェイオアシス	6	20.0%	2
イオンモール東浦	3	10.0%	3
刈谷市役所	3	10.0%	6
知立駅	2	6.7%	4
スーパー	2	6.7%	5
商業施設	2	6.7%	7
総合運動公園	2	6.7%	11
イオン	2	6.7%	11
アピタ	2	6.7%	11

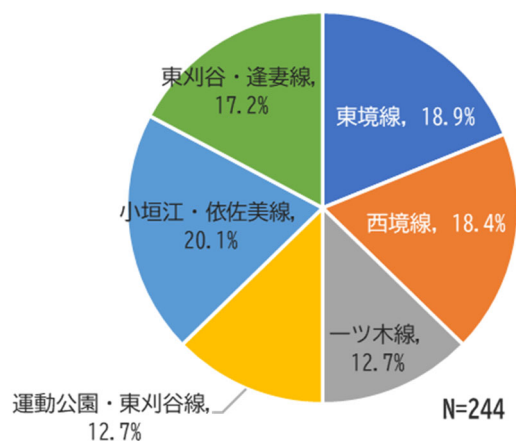
3 バス利用者（「かりまる」利用者）アンケート調査結果

公共施設連絡バス「かりまる」の利用者を対象とした、公共交通に関する利用者ニーズの把握に向けたアンケート調査の結果を整理します。

【路線別の回収数】

●路線別の回収数は、どの路線でもほぼ同程度となっています。

項目	回答数	回答率
東境線	46	18.9%
西境線	45	18.4%
一ツ木線	31	12.7%
運動公園・東刈谷線	31	12.7%
小垣江・依佐美線	49	20.1%
東刈谷・逢妻線	42	17.2%
合計	244	100.0%

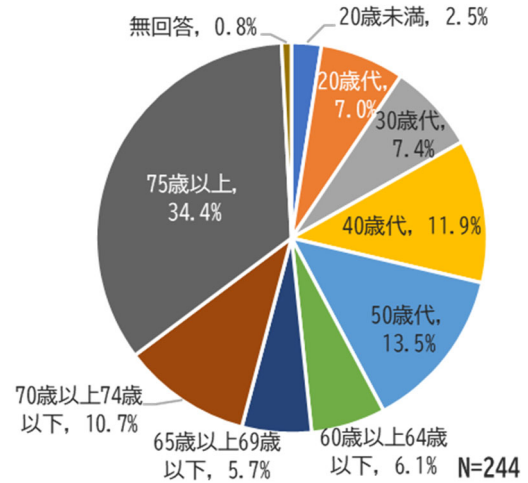


【回答者の属性】

問1 あなたの年齢を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の年齢は、「75歳以上」(34.4%)が最も多く、次いで「50歳代」(13.5%)、「40歳代」(11.9%)となっており、バス利用者の約3人に1人が75歳以上となっています。
- また、「20歳未満」(2.5%)の利用は少ない結果となっています。

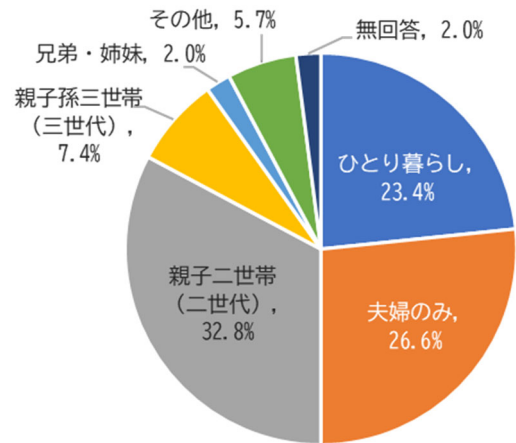
項目	回答数	回答率
20歳未満	6	2.5%
20歳代	17	7.0%
30歳代	18	7.4%
40歳代	29	11.9%
50歳代	33	13.5%
60歳以上64歳以下	15	6.1%
65歳以上69歳以下	14	5.7%
70歳以上74歳以下	26	10.7%
75歳以上	84	34.4%
無回答	2	0.8%
合計	244	100.0%



問2 あなたの家族構成を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の家族構成は、「親子二世帯(二世帯)」(32.8%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(26.6%)、「ひとり暮らし」(23.4%)となっています。

項目	回答数	回答率
ひとり暮らし	57	23.4%
夫婦のみ	65	26.6%
親子二世帯(二世帯)	80	32.8%
親子孫三世帯(三世帯)	18	7.4%
兄弟・姉妹	5	2.0%
その他	14	5.7%
無回答	5	2.0%
合計	244	100.0%

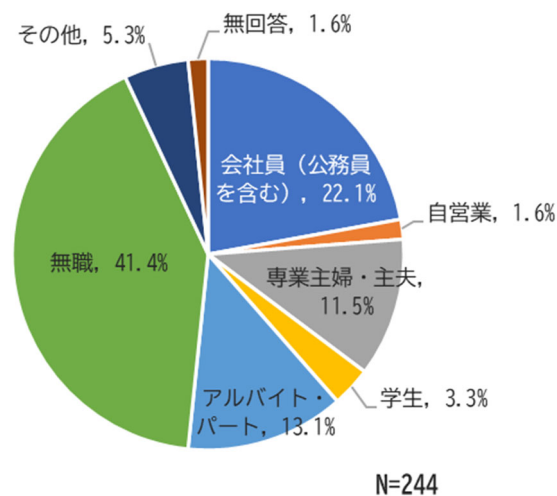


N=244

問3 あなたのご職業を教えてください。(該当する項目1つに○)

- 回答者の職業は、「無職」(41.4%)が最も多く、次いで「会社員(公務員を含む)」(22.1%)、「アルバイト・パート」(13.1%)となっています。

公務員を含む)	回答数	回答率
会社員(公務員を含む)	54	22.1%
自営業	4	1.6%
専業主婦・主夫	28	11.5%
学生	8	3.3%
アルバイト・パート	32	13.1%
無職	101	41.4%
その他	13	5.3%
無回答	4	1.6%
合計	244	100.0%

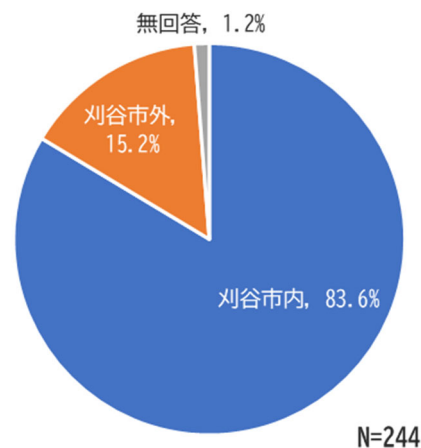


問4 あなたのお住まいを教えてください。(該当する項目1つに○)

回答者の居住地

- 回答者のうち、刈谷市内在住の方は 83.6%、刈谷市外在住の方は 15.2%となっており、8割以上が刈谷市民を占めています。

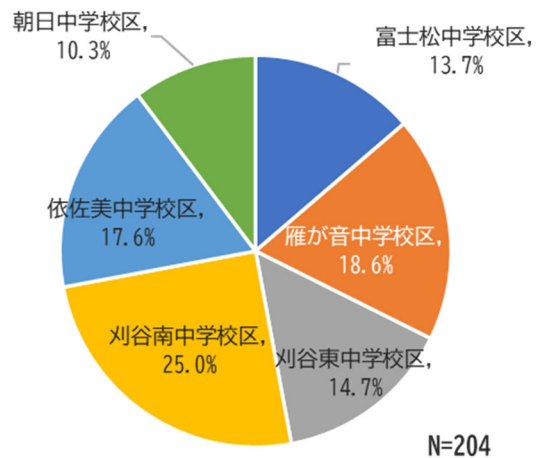
項目	回答数	回答率
刈谷市内	204	83.6%
刈谷市外	37	15.2%
無回答	3	1.2%
合計	244	100.0%



回答者の居住地（刈谷市内在住者）

- 刈谷市内に居住する回答者のうち、「刈谷南中学校区」（25.0％）に居住する方が最も多く、次いで、「雁が音中学校区」（18.6％）、「依佐美中学校区」（17.6％）となっています。

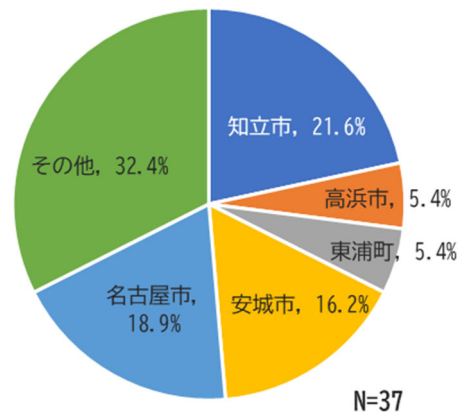
項目	回答数	回答率
富士松中学校区	28	13.7%
雁が音中学校区	38	18.6%
刈谷東中学校区	30	14.7%
刈谷南中学校区	51	25.0%
依佐美中学校区	36	17.6%
朝日中学校区	21	10.3%
合計	204	100.0%



回答者の居住地（刈谷市外在住者）

- 刈谷市外に居住する回答者のうち、「知立市」（21.6％）に居住する方が最も多く、次いで、「名古屋市」（18.9％）、「安城市」（16.2％）となっています。
- その他の回答としては、「大府市」、「岡崎市」がありました。

項目	回答数	回答率
知立市	8	21.6%
高浜市	2	5.4%
東浦町	2	5.4%
安城市	6	16.2%
名古屋市	7	18.9%
その他	12	32.4%
合計	37	100.0%

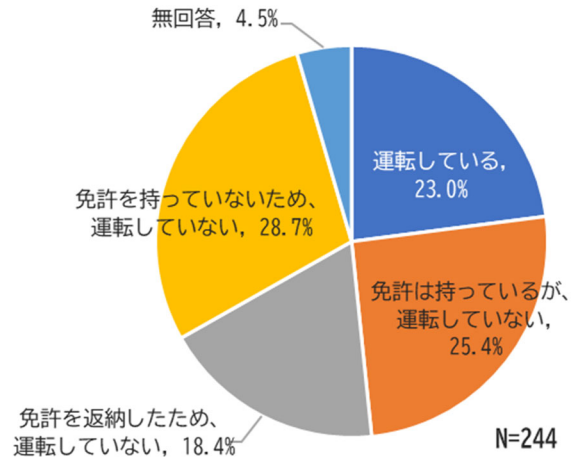


【自動車運転免許の保有状況】

問5 あなたは普段、自動車を運転しますか。(該当する項目1つに○)

- 回答者のうち「免許を持っていないため、運転していない」(28.7%)が最も多く、次いで「免許は持っているが、運転していない」(25.4%)、「運転している」(23.0%)となっており、バス利用者の約4人に3人は自動車を運転しない現状にあります。
- また、運転免許の保有状況として、バス利用者の場合は概ね半数程度となっています。

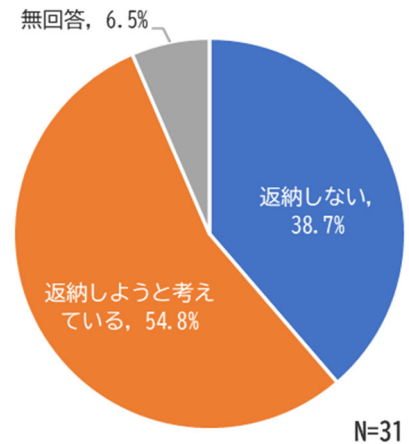
項目	回答数	回答率
運転している	56	23.0%
免許は持っているが、運転していない	62	25.4%
免許を返納したため、運転していない	45	18.4%
免許を持っていないため、運転していない	70	28.7%
無回答	11	4.5%
合計	244	100.0%



問6 あなたは今後、自ら運転免許を返納しようとお考えですか。(該当する項目1つに○)
※自動車運転免許をお持ちの65歳以上の方のみ回答

- 65歳以上の運転免許保有者のうち、54.8%が運転免許を「返納しようと考えている」と回答しており、返納意向は高い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
返納しない	12	38.7%
返納しようと考えている	17	54.8%
無回答	2	6.5%
合計	31	100.0%



問7

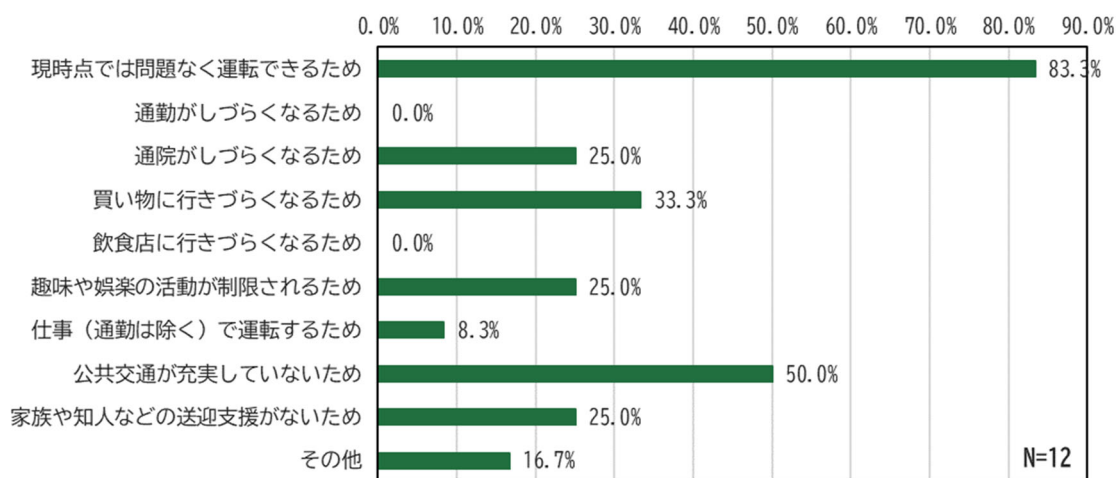
自動車運転免許を返納しない理由は何ですか。(該当する項目全てに○)

※問6で「返納しない」を選択した方のみ回答

- 自動車運転免許を返納しない理由としては、「現時点で問題なく運転できるため」(83.3%)が最も多く、次いで「公共交通が充実していないため」(50.0%)、「買い物に行きづらくなるため」(33.3%)となっています。

項目	回答数	回答率
現時点では問題なく運転できるため	10	83.3%
通勤がしづらくなるため	0	0.0%
通院がしづらくなるため	3	25.0%
買い物に行きづらくなるため	4	33.3%
飲食店に行きづらくなるため	0	0.0%
趣味や娯楽の活動が制限されるため	3	25.0%
仕事（通勤は除く）で運転するため	1	8.3%
公共交通が充実していないため	6	50.0%
家族や知人などの送迎支援がないため	3	25.0%
その他	2	16.7%
無回答	2	16.7%
合計	34	

※回答率は N=12 で算出。



問8

自動車運転免許を返納した、または返納しようとする理由は何ですか。また、返納後に利用している、または利用を考えている交通手段を教えてください。(該当する項目全てに○)

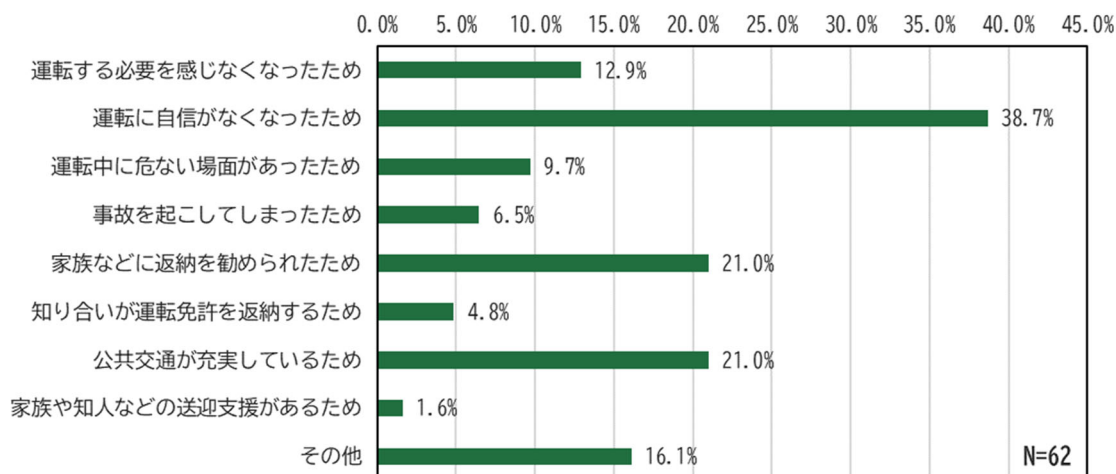
※問5で「免許を返納したため、運転していない」を選択した方、または問6で「返納しようと考えている」を選択した方のみ回答

①返納した、または返納しようとする理由

- 自動車運転免許を返納した、または返納しようとする理由としては、「運転に自信がなくなったため」(38.7%)が最も多く、次いで「家族などに返納を勧められたため」「公共交通が充実しているため」(ともに21.0%)となっています。

項目	回答数	回答率
運転する必要性を感じなくなったため	8	12.9%
運転に自信がなくなったため	24	38.7%
運転中に危ない場面があったため	6	9.7%
事故を起こしてしまったため	4	6.5%
家族などに返納を勧められたため	13	21.0%
知り合いが運転免許を返納するため	3	4.8%
公共交通が充実しているため	13	21.0%
家族や知人などの送迎支援があるため	1	1.6%
その他	10	16.1%
無回答	2	3.2%
合計	84	

※回答率は N=62 で算出。

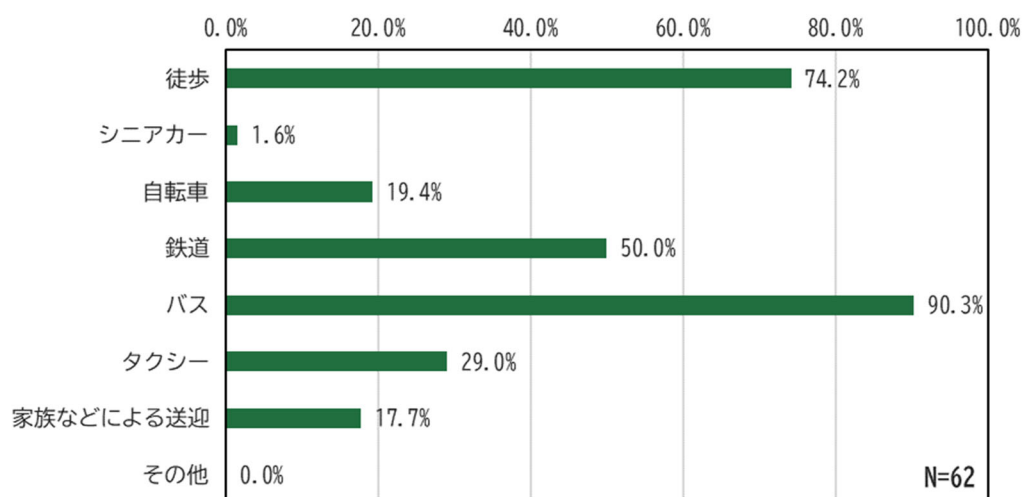


②返納後に利用している、または利用を考えている交通手段

- 自動車運転免許返納後に利用している、または利用を考えている交通手段としては、「バス」(90.3%)が最も多く、次いで「徒歩」(74.2%)、「鉄道」(50.0%)となっており、免許返納後の交通手段として、「バス」のニーズが非常に高い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
徒歩	46	74.2%
シニアカー	1	1.6%
自転車	12	19.4%
鉄道	31	50.0%
バス	56	90.3%
タクシー	18	29.0%
家族などによる送迎	11	17.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	175	

※回答率は N=62 で算出。



【普段の外出】

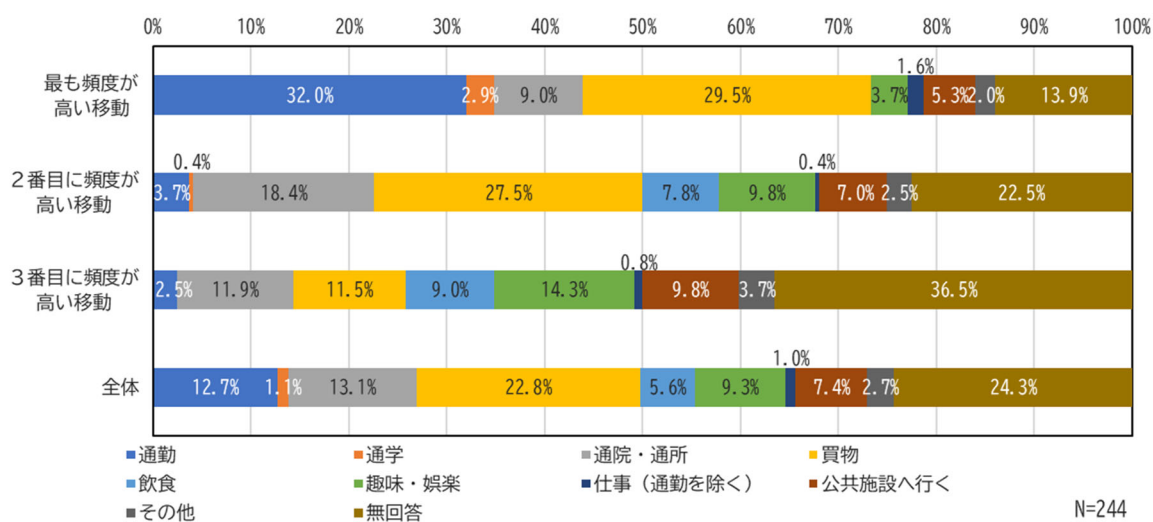
問9

あなたの現在の外出のうち、「最も頻度が高い移動」「2番目に頻度が高い移動」「3番目に頻度が高い移動」について、それぞれの外出の目的、頻度、主な時間帯、出発地と目的地、交通手段を教えてください。(刈谷市外への外出も含む)

外出の目的

- 外出の目的全体では、「買物」(22.8%)が最も多く、次いで「通院・通所」(13.1%)、「通勤」(12.7%)となっています。
- また、最も頻度が高い移動では「通勤」(32.0%)となっており、2番目に頻度が高い移動は「買物」(27.5%)、3番目に頻度が高い移動は「趣味・娯楽」(14.3%)となっています。

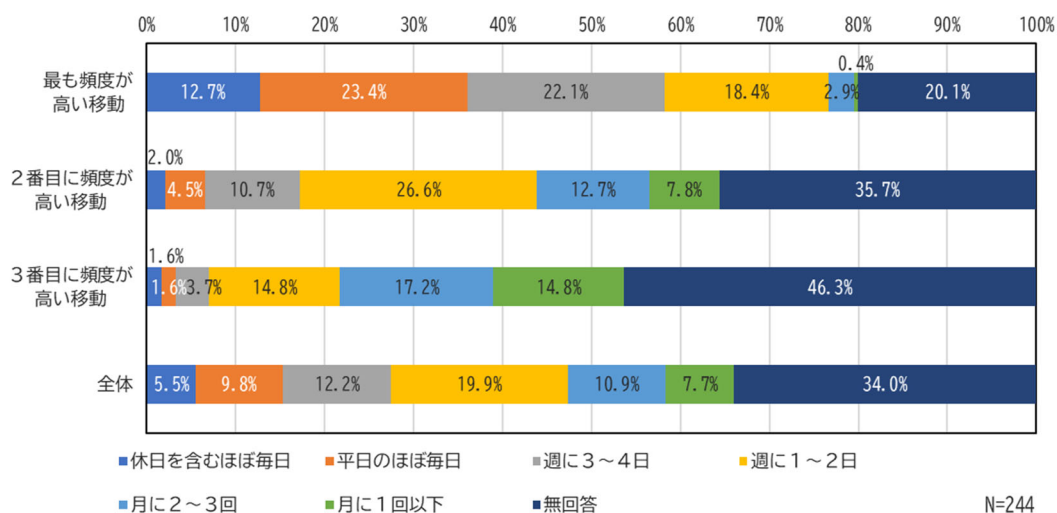
項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		合計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
通勤	78	32.0%	9	3.7%	6	2.5%	93	12.7%
通学	7	2.9%	1	0.4%	0	0.0%	8	1.1%
通院・通所	22	9.0%	45	18.4%	29	11.9%	96	13.1%
買物	72	29.5%	67	27.5%	28	11.5%	167	22.8%
飲食	0	0.0%	19	7.8%	22	9.0%	41	5.6%
趣味・娯楽	9	3.7%	24	9.8%	35	14.3%	68	9.3%
仕事(通勤を除く)	4	1.6%	1	0.4%	2	0.8%	7	1.0%
公共施設へ行く	13	5.3%	17	7.0%	24	9.8%	54	7.4%
その他	5	2.0%	6	2.5%	9	3.7%	20	2.7%
無回答	34	13.9%	55	22.5%	89	36.5%	178	24.3%
合計	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	732	100.0%



外出の頻度

- 外出の頻度全体では、「週に1～2日」(19.9%)が最も多く、次いで「週に3～4日」(12.2%)、「月に2～3回」(10.9%)となっています。
- また、最も頻度が高い移動では「平日のほぼ毎日」(23.4%)、2番目に頻度が高い移動では「週に1～2日」(26.6%)、「月に2～3回」(17.2%)となっています。

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		合計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
休日を含むほぼ毎日	31	12.7%	5	2.0%	4	1.6%	40	5.5%
平日のほぼ毎日	57	23.4%	11	4.5%	4	1.6%	72	9.8%
週に3～4日	54	22.1%	26	10.7%	9	3.7%	89	12.2%
週に1～2日	45	18.4%	65	26.6%	36	14.8%	146	19.9%
月に2～3回	7	2.9%	31	12.7%	42	17.2%	80	10.9%
月に1回以下	1	0.4%	19	7.8%	36	14.8%	56	7.7%
無回答	49	20.1%	87	35.7%	113	46.3%	249	34.0%
合計	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	732	100.0%



外出の主な時間帯

- 外出の主な時間帯全体として、出発時刻では「10時」(12.6%)が最も多く、次いで「9時」(8.6%)、「12時」(6.3%)となっており、到着時刻では「10時」(21.2%)、「9時」(14.6%)、「8時」(9.6%)となっています。
- また、最も頻度が高い移動の出発時刻は「7時・8時」(ともに16.4%)、到着時間は「8時」(13.5%)、2番目に頻度が高い移動及び3番目に頻度が多い移動については、出発時刻・到着時刻ともに「10時」が最も多くなっています。いずれも1時間程度の移動が多い傾向にあります。

時間帯	最も頻度が高い移動				2番目に頻度が高い移動				3番目に頻度が高い移動				全体			
	出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
5時	5	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6時	25	10.2%	5	2.0%	1	0.4%	0	0.0%	6	2.5%	1	0.4%	7	1.0%	14	1.9%
7時	40	16.4%	16	6.6%	4	1.6%	0	0.0%	13	5.3%	2	0.8%	15	2.0%	30	4.1%
8時	40	16.4%	33	13.5%	28	11.5%	8	3.3%	22	9.0%	9	3.7%	39	5.3%	70	9.6%
9時	28	11.5%	26	10.7%	32	13.1%	19	7.8%	27	11.1%	17	7.0%	63	8.6%	107	14.6%
10時	38	15.6%	26	10.7%	43	17.6%	29	11.9%	31	12.7%	32	13.1%	92	12.6%	155	21.2%
11時	12	4.9%	19	7.8%	26	10.7%	25	10.2%	8	3.3%	12	4.9%	45	6.1%	65	8.9%
12時	4	1.6%	18	7.4%	7	2.9%	23	9.4%	7	2.9%	16	6.6%	46	6.3%	69	9.4%
13時	3	1.2%	8	3.3%	9	3.7%	17	7.0%	7	2.9%	12	4.9%	36	4.9%	55	7.5%
14時	5	2.0%	15	6.1%	2	0.8%	9	3.7%	3	1.2%	4	1.6%	16	2.2%	23	3.1%
15時	2	0.8%	13	5.3%	6	2.5%	11	4.5%	4	1.6%	5	2.0%	20	2.7%	29	4.0%
16時	2	0.8%	8	3.3%	4	1.6%	9	3.7%	1	0.4%	6	2.5%	16	2.2%	23	3.1%
17時	0	0.0%	4	1.6%	5	2.0%	6	2.5%	1	0.4%	3	1.2%	10	1.4%	14	1.9%
18時	2	0.8%	9	3.7%	4	1.6%	8	3.3%	4	1.6%	9	3.7%	21	2.9%	34	4.6%
19時	0	0.0%	1	0.4%	2	0.8%	6	2.5%	2	0.8%	2	0.8%	10	1.4%	14	1.9%
20時	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	3	1.2%	1	0.4%	3	1.2%	7	1.0%	11	1.5%
21時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%	2	0.3%
22時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.3%
23時	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.1%	2	0.3%
その他	5	2.0%	5	2.0%	5	2.0%	3	1.2%	4	1.6%	4	1.6%	14	1.9%	12	1.6%
無回答	33	13.5%	37	15.2%	65	26.6%	68	27.9%	102	41.8%	105	43.0%	200	27.3%	210	28.7%
合計	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	244	100.0%	732	100.0%	732	100.0%

出発地と目的地

- 出発地としては、「自宅」から目的地に移動する方が大半を占めています。
- 目的地として特に回答が多かったものは、「刈谷市内」(13.0%)や「刈谷駅」(10.2%)、「病院」(6.6%)となっています。この他、市内外問わず多種多様な移動が見られました。

① 出発地

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		合計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
自宅	199	81.6%	155	63.5%	132	54.1%	486	66.4%
刈谷市内	2	0.8%	6	2.5%	4	1.6%	12	1.6%
刈谷駅	0	0.0%	1	0.4%	2	0.8%	3	0.4%
老人デイサービスセンター ひまわり	1	0.4%	2	0.8%	0	0.0%	3	0.4%
東刈谷駅	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.3%

② 目的地

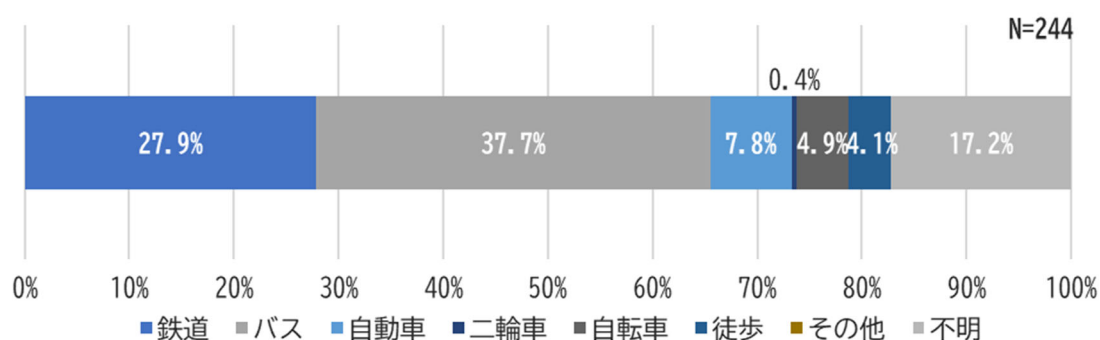
項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		合計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
刈谷市内	37	15.2%	36	14.8%	22	9.0%	95	13.0%
刈谷駅	28	11.5%	27	11.1%	20	8.2%	75	10.2%
病院	16	6.6%	16	6.6%	16	6.6%	48	6.6%
名古屋市	5	2.0%	8	3.3%	17	7.0%	30	4.1%
公共施設	7	2.9%	15	6.1%	3	1.2%	25	3.4%

外出時の交通手段

- 頻度別、全体でみても「徒歩」による外出が最も多くなっており、自動車による外出は比較的少ない傾向にあります。
- 交通手段分担率は、「バス」(37.7%)が最も高く、次いで「鉄道」(27.9%)、「自動車」(7.8%)となっており、公共交通が代表交通手段を占める割合が高くなっています。

項目	最も頻度が高い		2番目に頻度が高い		3番目に頻度が高い		合計	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
J R東海道本線	50	20.5%	24	9.8%	32	13.1%	106	14.5%
名鉄名古屋本線	12	4.9%	11	4.5%	9	3.7%	32	4.4%
名鉄三河線	22	9.0%	8	3.3%	7	2.9%	37	5.1%
その他の鉄道路線	9	3.7%	3	1.2%	5	2.0%	17	2.3%
刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」	138	56.6%	100	41.0%	64	26.2%	302	41.3%
名鉄バス	5	2.0%	5	2.0%	2	0.8%	12	1.6%
知立市ミニバス	3	1.2%	2	0.8%	1	0.4%	6	0.8%
高浜市循環バスいきいき号	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%	2	0.3%
東浦町運行バスう・ら・ら	1	0.4%	2	0.8%	3	1.2%	6	0.8%
安城市あんくるバス	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.3%
その他バス	6	2.5%	2	0.8%	2	0.8%	10	1.4%
タクシー	7	2.9%	8	3.3%	8	3.3%	23	3.1%
自家用車（自分で運転）	24	9.8%	28	11.5%	21	8.6%	73	10.0%
自家用車（家族などが運転）	23	9.4%	25	10.2%	27	11.1%	75	10.2%
原付・バイク	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	3	0.4%
自転車	33	13.5%	23	9.4%	19	7.8%	75	10.2%
徒歩	145	59.4%	100	41.0%	72	29.5%	317	43.3%
その他	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
合計	480		343		276		1,099	

※頻度別の回答数はN=244で算出、合計の回答率はN=732で算出。



※交通手段分担率は「最も頻度が高い移動」に着目し、「鉄道（JR, 名鉄, その他）、バス（「かりまる」、名鉄バス, 近隣市町のコミバス, その他バス）、自動車（タクシー, 自家用車（自分で運転）、自家用車（家族などが運転））、二輪車（原付・バイク）、自転車、徒歩、その他」の順で設定し算出した。

【公共交通の満足度・重要度】

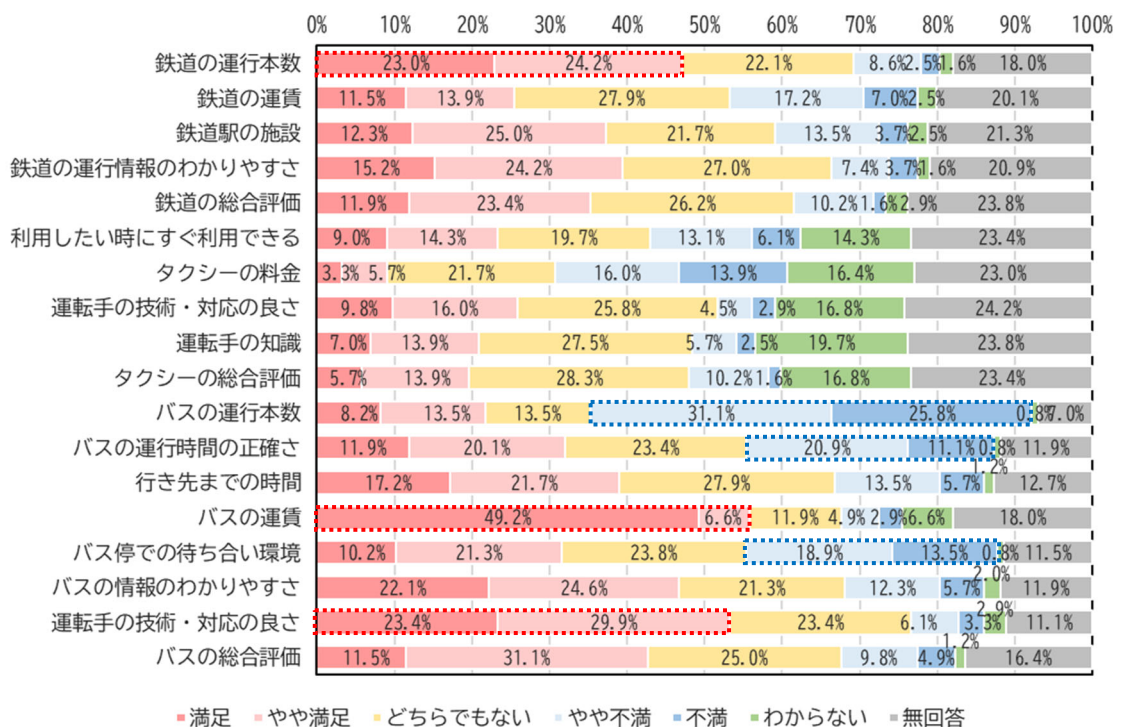
問 10

あなたが思う刈谷市内における現在の公共交通についての満足度とこれからの公共交通に対する重要度を教えてください。

公共交通の満足度

- 満足度（満足+やや満足）は、「バスの運賃」（55.8%）が最も高く、次いで「運転手の技術・対応のよさ」（53.3%）、「鉄道の運行本数」（47.2%）となっています。
- 不満度（やや不満+不満）は、「バスの運行本数」（56.9%）が最も高く、次いで「バス停での待ち合い環境」（32.4%）、「バスの運行時間の正確さ」（32.0%）となっています。
- 交通手段別の総合評価としては、「バス」「鉄道」「タクシー」の順となっていますが、「タクシー」については、満足度が20%を下回っています。

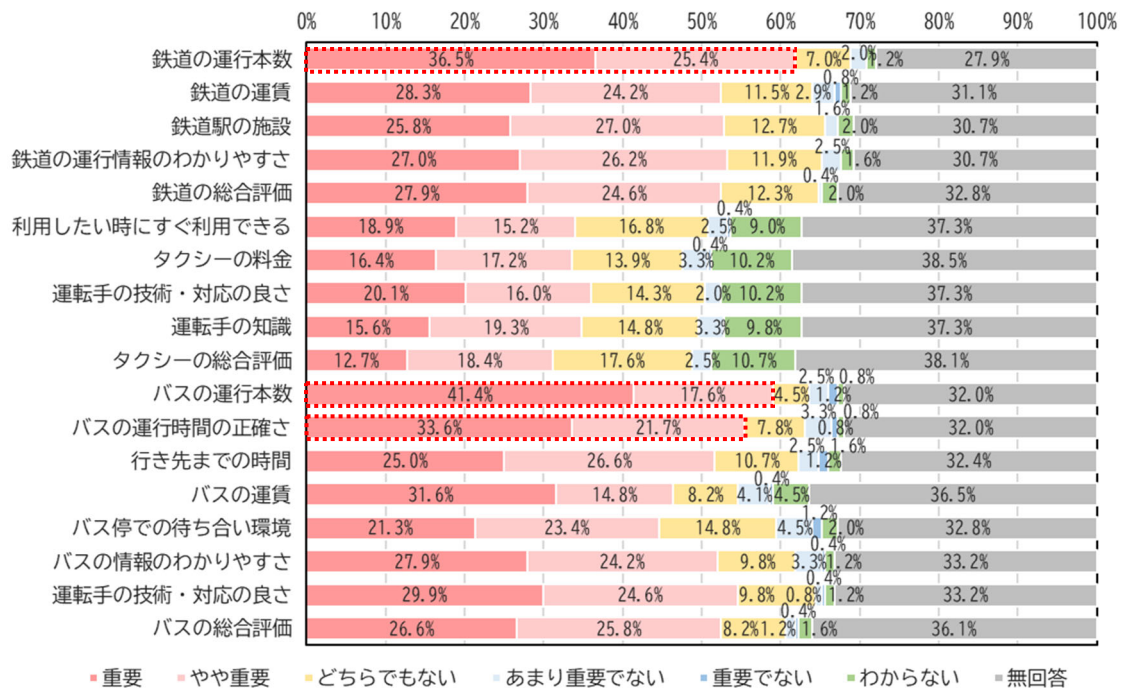
		満足度													
		満足		やや満足		どちらでもない		やや不満		不満				わからない	
鉄道	鉄道の運行本数	23.0%	56	24.2%	59	22.1%	54	8.6%	21	2.5%	6	1.6%	4	18.0%	44
	鉄道の運賃	11.5%	28	13.9%	34	27.9%	68	17.2%	42	7.0%	17	2.5%	6	20.1%	49
	鉄道駅の施設	12.3%	30	25.0%	61	21.7%	53	13.5%	33	3.7%	9	2.5%	6	21.3%	52
	鉄道の運行情報のわかりやすさ	15.2%	37	24.2%	59	27.0%	66	7.4%	18	3.7%	9	1.6%	4	20.9%	51
	鉄道の総合評価	11.9%	29	23.4%	57	26.2%	64	10.2%	25	1.6%	4	2.9%	7	23.8%	58
タクシー	利用したい時にすぐ利用できる	9.0%	22	14.3%	35	19.7%	48	13.1%	32	6.1%	15	14.3%	35	23.4%	57
	タクシーの料金	3.3%	8	5.7%	14	21.7%	53	16.0%	39	13.9%	34	16.4%	40	23.0%	56
	運転手の技術・対応の良さ	9.8%	24	16.0%	39	25.8%	63	4.5%	11	2.9%	7	16.8%	41	24.2%	59
	運転手の知識	7.0%	17	13.9%	34	27.5%	67	5.7%	14	2.5%	6	19.7%	48	23.8%	58
	タクシーの総合評価	5.7%	14	13.9%	34	28.3%	69	10.2%	25	1.6%	4	16.8%	41	23.4%	57
バス	バスの運行本数	8.2%	20	13.5%	33	13.5%	33	31.1%	76	25.8%	63	0.8%	2	7.0%	17
	バスの運行時間の正確さ	11.9%	29	20.1%	49	23.4%	57	20.9%	51	11.1%	27	0.8%	2	11.9%	29
	行き先までの時間	17.2%	42	21.7%	53	27.9%	68	13.5%	33	5.7%	14	1.2%	3	12.7%	31
	バスの運賃	49.2%	120	6.6%	16	11.9%	29	4.9%	12	2.9%	7	6.6%	16	18.0%	44
	バス停での待ち合い環境	10.2%	25	21.3%	52	23.8%	58	18.9%	46	13.5%	33	0.8%	2	11.5%	28
	バスの情報のわかりやすさ	22.1%	54	24.6%	60	21.3%	52	12.3%	30	5.7%	14	2.0%	5	11.9%	29
	運転手の技術・対応の良さ	23.4%	57	29.9%	73	23.4%	57	6.1%	15	3.3%	8	2.9%	7	11.1%	27
バスの総合評価	11.5%	28	31.1%	76	25.0%	61	9.8%	24	4.9%	12	1.2%	3	16.4%	40	



公共交通の重要度

●重要度（重要+やや重要）は、「鉄道の運行本数」（61.9%）が最も高く、次いで「バスの運行本数」（59.0%）、「バスの運行時間の正確さ」（55.3%）となっており、「鉄道」に関する重要度が高い傾向にあります。

	重要度														
	重要		やや重要		どちらでもない		あまり重要でない		重要でない		わからない		無回答		
鉄道	鉄道の運行本数	36.5%	89	25.4%	62	7.0%	17	2.0%	5	0.0%	0	1.2%	3	27.9%	68
	鉄道の運賃	28.3%	69	24.2%	59	11.5%	28	2.9%	7	0.8%	2	1.2%	3	31.1%	76
	鉄道駅の施設	25.8%	63	27.0%	66	12.7%	31	1.6%	4	0.0%	0	2.0%	5	30.7%	75
	鉄道の運行情報のわかりやすさ	27.0%	66	26.2%	64	11.9%	29	2.5%	6	0.0%	0	1.6%	4	30.7%	75
	鉄道の総合評価	27.9%	68	24.6%	60	12.3%	30	0.4%	1	0.0%	0	2.0%	5	32.8%	80
タクシー	利用したい時にすぐ利用できる	18.9%	46	15.2%	37	16.8%	41	2.5%	6	0.4%	1	9.0%	22	37.3%	91
	タクシーの料金	16.4%	40	17.2%	42	13.9%	34	3.3%	8	0.4%	1	10.2%	25	38.5%	94
	運転手の技術・対応の良さ	20.1%	49	16.0%	39	14.3%	35	2.0%	5	0.0%	0	10.2%	25	37.3%	91
	運転手の知識	15.6%	38	19.3%	47	14.8%	36	3.3%	8	0.0%	0	9.8%	24	37.3%	91
タクシーの総合評価	12.7%	31	18.4%	45	17.6%	43	2.5%	6	0.0%	0	10.7%	26	38.1%	93	
バス	バスの運行本数	41.4%	101	17.6%	43	4.5%	11	2.5%	6	1.2%	3	0.8%	2	32.0%	78
	バスの運行時間の正確さ	33.6%	82	21.7%	53	7.8%	19	3.3%	8	0.8%	2	0.8%	2	32.0%	78
	行き先までの時間	25.0%	61	26.6%	65	10.7%	26	2.5%	6	1.2%	3	1.6%	4	32.4%	79
	バスの運賃	31.6%	77	14.8%	36	8.2%	20	4.1%	10	0.4%	1	4.5%	11	36.5%	89
	バス停での待ち合い環境	21.3%	52	23.4%	57	14.8%	36	4.5%	11	1.2%	3	2.0%	5	32.8%	80
	バスの情報のわかりやすさ	27.9%	68	24.2%	59	9.8%	24	3.3%	8	0.4%	1	1.2%	3	33.2%	81
	運転手の技術・対応の良さ	29.9%	73	24.6%	60	9.8%	24	0.8%	2	0.4%	1	1.2%	3	33.2%	81
バスの総合評価	26.6%	65	25.8%	63	8.2%	20	1.2%	3	0.4%	1	1.6%	4	36.1%	88	



【公共交通の認知度】

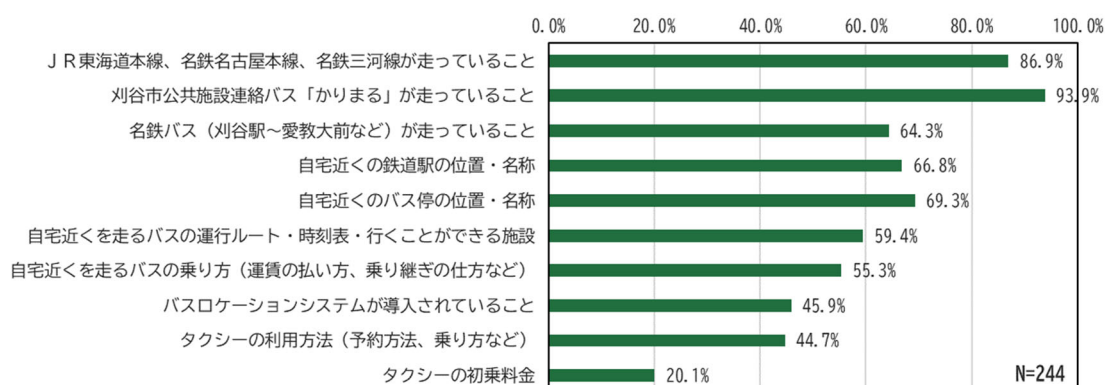
問 11

あなたが刈谷市内の公共交通について知っていることを教えてください。
(該当する項目全てに○)

- 刈谷市内の公共交通について、「刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」が走っていること」(93.9%) が最も認知度が高く、次いで「JR 東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄三河線が走っていること」(86.9%)、「自宅近くのバス停の位置・名称」(69.3%) となっています。

項目	回答数	回答率
J R 東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄三河線が走っていること	212	86.9%
刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」が走っていること	229	93.9%
名鉄バス（刈谷駅～愛教大前など）が走っていること	157	64.3%
自宅近くの鉄道駅の位置・名称	163	66.8%
自宅近くのバス停の位置・名称	169	69.3%
自宅近くを走るバスの運行ルート・時刻表・行くことができる施設	145	59.4%
自宅近くを走るバスの乗り方（運賃の払い方、乗り継ぎの仕方など）	135	55.3%
バスロケーションシステムが導入されていること	112	45.9%
タクシーの利用方法（予約方法、乗り方など）	109	44.7%
タクシーの初乗料金	49	20.1%
無回答	9	3.7%
合計	1,489	

※回答率は N=244 で算出。



【コロナ禍の公共交通の利用】

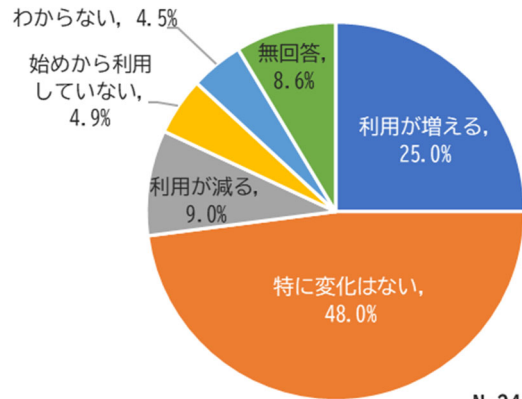
問 12

あなたの公共交通の利用は、コロナ拡大前と比較してコロナ収束後（コロナの影響がない未来）はどのようになると思いますか。（交通手段毎に該当する項目1つに○）

- コロナ拡大前と比較して、鉄道、バス、タクシーの全ての交通手段で「特に変化はない」と回答した市民が多い結果となっています。
- いずれの交通手段もコロナ拡大前から「利用が減る」と回答した割合が少なく、「バス」に至っては30.7%の利用者がコロナ拡大前から「利用が増える」と回答しています。

①鉄道

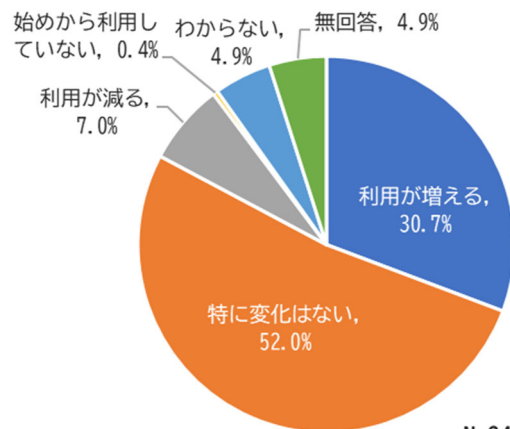
項目	回答数	回答率
利用が増える	61	25.0%
特に変化はない	117	48.0%
利用が減る	22	9.0%
始めから利用していない	12	4.9%
わからない	11	4.5%
無回答	21	8.6%
合計	244	100.0%



N=244

②バス

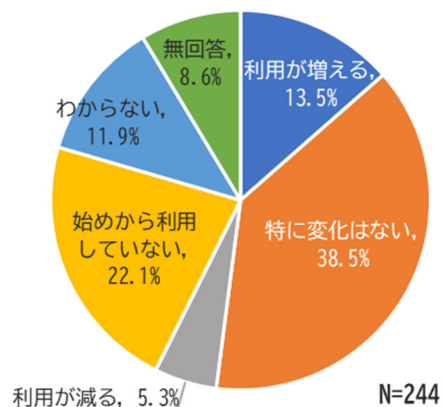
項目	回答数	回答率
利用が増える	75	30.7%
特に変化はない	127	52.0%
利用が減る	17	7.0%
始めから利用していない	1	0.4%
わからない	12	4.9%
無回答	12	4.9%
合計	244	100.0%



N=244

③タクシー

項目	回答数	回答率
利用が増える	33	13.5%
特に変化はない	94	38.5%
利用が減る	13	5.3%
始めから利用していない	54	22.1%
わからない	29	11.9%
無回答	21	8.6%
合計	244	100.0%



N=244

【バスの利用】

問 13

あなたはこの1年の間に刈谷市内を通るバスを利用しましたか。バスを利用した方は、利用したバス路線などを教えてください。（該当する項目全てに○）

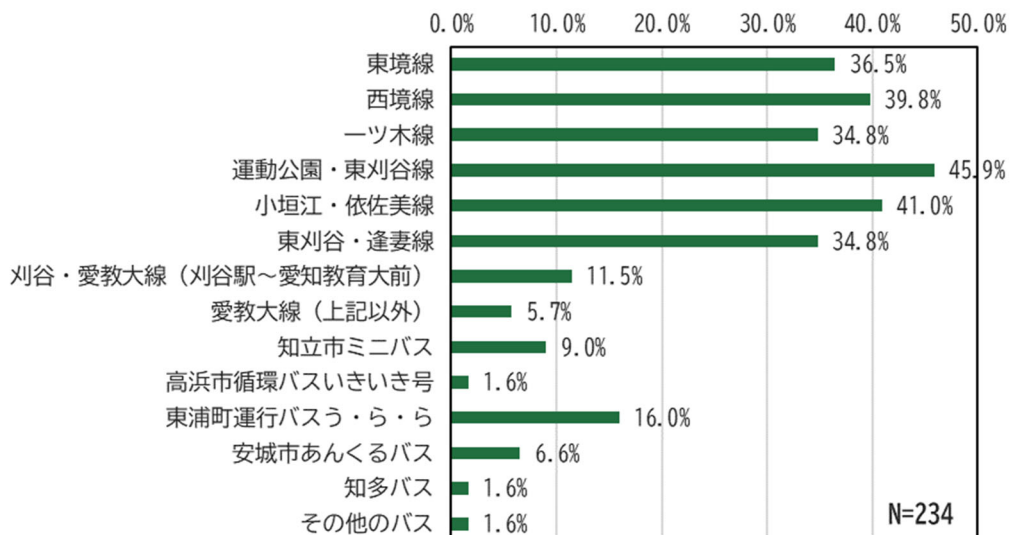
- 利用されているバスは、公共施設連絡バス「かりまる」が最も多く、中でも中心地域と南部地域を連絡する「運動公園・東刈谷線」（45.9%）や南部地域を循環する「小垣江・依佐美線」（41.0%）などの利用が多い傾向にあります。
- 「かりまる」以外のバス路線としては、東浦町が運行している「う・ら・ら」（16.0%）や「名鉄バス刈谷・愛教大線」（11.5%）の利用が見られます。

項目	回答数	回答率
バスを利用していない	1	0.4%
バスを利用した	234	95.9%
無回答	9	3.7%
合計	244	100.0%

N=234

利用したバス	回答数	回答率
東境線	89	36.5%
西境線	97	39.8%
一ツ木線	85	34.8%
運動公園・東刈谷線	112	45.9%
小垣江・依佐美線	100	41.0%
東刈谷・逢妻線	85	34.8%
刈谷・愛教大線（刈谷駅～愛知教育大前）	28	11.5%
愛教大線（上記以外）	14	5.7%
知立市ミニバス	22	9.0%
高浜市循環バスいきいき号	4	1.6%
東浦町運行バスう・ら・ら	39	16.0%
安城市あんくるバス	16	6.6%
知多バス	4	1.6%
その他のバス	4	1.6%
合計	699	

※回答率はN=234で算出。



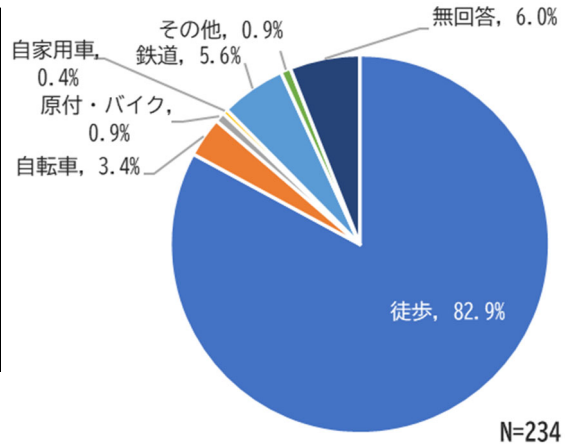
問 14

あなたがバスを利用する際の交通手段や利用頻度、利用目的などについて教えてください。(問 13 で「バスを利用した」を選択した方のみ回答)

自宅から乗車バス停までの主な交通手段

●自宅から乗車バス停までの主な交通手段は、「徒歩」(82.9%)が大半を占めています。

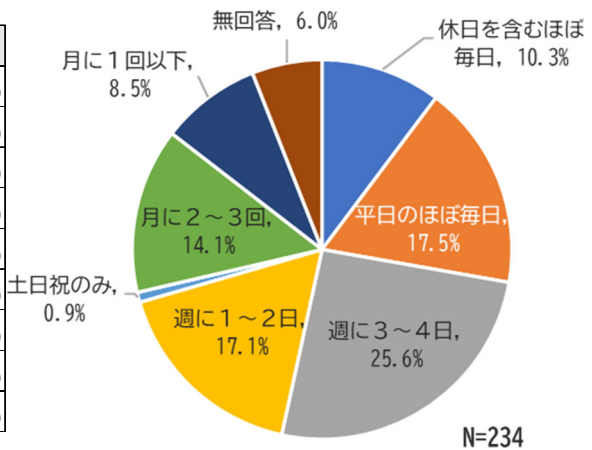
項目	回答数	回答率
徒歩	194	82.9%
自転車	8	3.4%
原付・バイク	2	0.9%
自家用車	1	0.4%
鉄道	13	5.6%
その他	2	0.9%
無回答	14	6.0%
合計	234	100.0%



利用頻度

●バスの利用頻度は、「週に3～4日」(25.6%)が最も多く、次いで「平日のほぼ毎日」(17.5%)、「週に1～2回」(17.1%)となっており、バス利用者の半数以上が週に1回以上の利用していることから、日常生活の移動手段として用いられていることがわかります。

項目	回答数	回答率
休日を含むほぼ毎日	24	10.3%
平日のほぼ毎日	41	17.5%
週に3～4日	60	25.6%
週に1～2日	40	17.1%
土日祝のみ	2	0.9%
月に2～3回	33	14.1%
月に1回以下	20	8.5%
無回答	14	6.0%
合計	234	100.0%

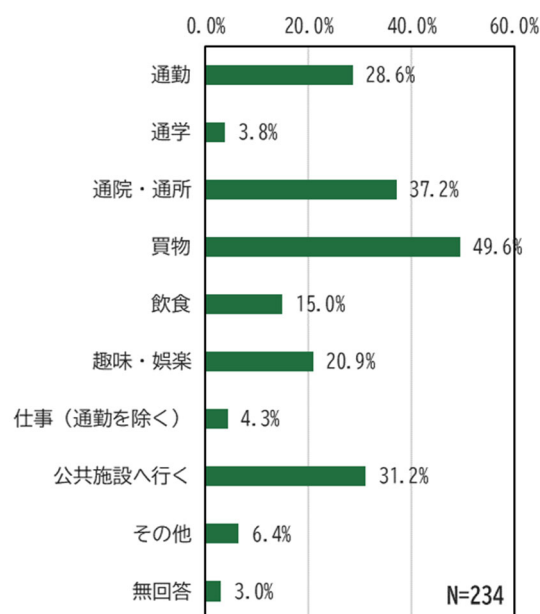


利用目的

- バスの利用目的は、「買物」(49.6%)が最も多く、次いで「通院・通所」(37.2%)、「公共施設へ行く」(31.2%)となっています。
- 「通学」でバスを利用している方は3.8%と少ない一方、「通勤」で利用している方は28.6%いました。

項目	回答数	回答率
通勤	67	28.6%
通学	9	3.8%
通院・通所	87	37.2%
買物	116	49.6%
飲食	35	15.0%
趣味・娯楽	49	20.9%
仕事（通勤を除く）	10	4.3%
公共施設へ行く	73	31.2%
その他	15	6.4%
無回答	7	3.0%
合計	468	

※回答率は N=234 で算出。

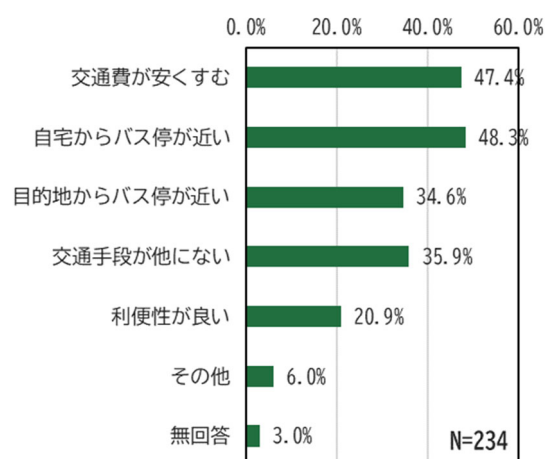


バスを利用する理由

- バスを利用する理由は、「自宅からバス停が近い」(48.3%)が最も多く、次いで「交通費が安くすむ」(47.4%)、「交通手段が他にない」(35.9%)となっている一方、「利便性が良い」(20.9%)はやや低いことから、経済的・物理的な視点から利用していることがわかります。

項目	回答数	回答率
交通費が安くすむ	111	47.4%
自宅からバス停が近い	113	48.3%
目的地からバス停が近い	81	34.6%
交通手段が他にない	84	35.9%
利便性が良い	49	20.9%
その他	14	6.0%
無回答	7	3.0%
合計	459	

※回答率は N=234 で算出。



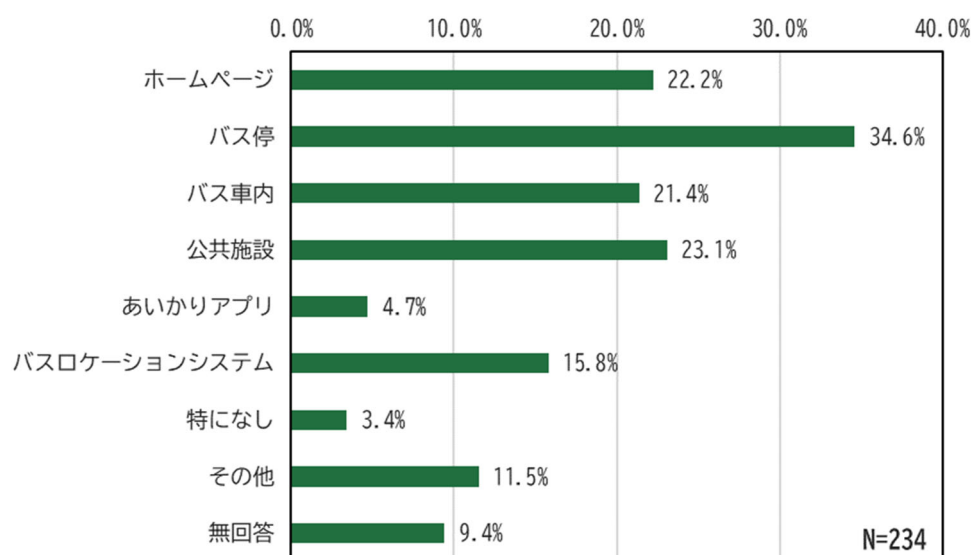
バスに関する情報の入手方法

- バスに関する情報は「バス停」(34.6%) で入手している割合が高く、次いで「公共施設」(23.1%)、「ホームページ」(22.2%) となっています。
- 「その他」としては、「かりまるバスガイド」が利用されています。

項目	回答数	回答率
ホームページ	52	22.2%
バス停	81	34.6%
バス車内	50	21.4%
公共施設	54	23.1%
あいかりアプリ	11	4.7%
バスロケーションシステム	37	15.8%
特になし	8	3.4%
その他	27	11.5%
無回答	22	9.4%

その他 (N=27)	回答数
かりまるバスガイド	13
時刻表	7
TV	4
市役所	1
市民だより	1
インターネット	1
合計	27

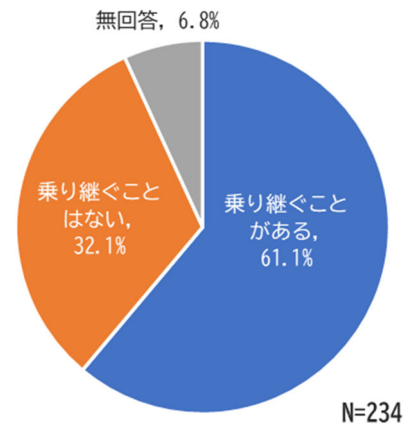
※回答率は N=234 で算出。



バスから他の公共交通機関への乗り継ぎの有無

- バスからの他の公共交通機関への乗り継ぎは、「乗り継ぐことがある」と回答した方が61.1%となっており、約6割のバス利用者が他の公共交通機関へ乗り継いでいます。

項目	回答数	回答率
乗り継ぐことがある	143	61.1%
乗り継ぐことはない	75	32.1%
無回答	16	6.8%
合計	234	100.0%

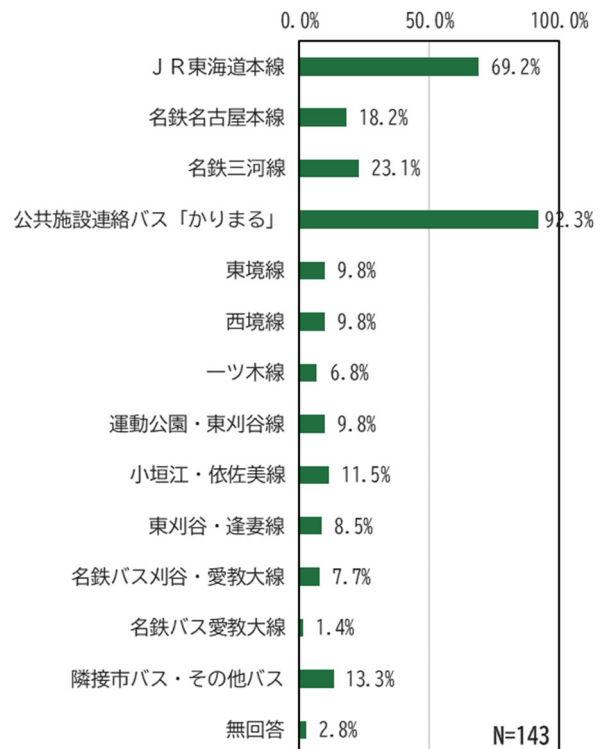


バスから乗り継ぐ公共交通機関

※【他の公共交通機関への乗り継ぐことがある】と選択した方のみ回答

- バスからの乗り継ぎ先として、「公共施設連絡バス「かりまる」」(92.3%)が最も多く、全体の8割以上を占めています。また、「JR東海道本線」(69.2%)、「名鉄三河線」(23.1%)となっており、バスから鉄道(鉄道からバス)への乗り継ぎが一定程度見られます。
- また、「公共施設連絡バス「かりまる」」の路線別では、小垣江・依佐美線への乗り継ぎが多い傾向にあります。

項目	回答数	回答率	
JR東海道本線	99	69.2%	
名鉄名古屋本線	26	18.2%	
名鉄三河線	33	23.1%	
公共施設連絡バス「かりまる」	132	92.3%	
路線別	東境線	23	9.8%
	西境線	23	9.8%
	一ツ木線	16	6.8%
	運動公園・東刈谷線	23	9.8%
	小垣江・依佐美線	27	11.5%
	東刈谷・逢妻線	20	8.5%
名鉄バス刈谷・愛教大線	11	7.7%	
名鉄バス愛教大線	2	1.4%	
隣接市バス・その他バス	19	13.3%	
無回答	4	2.8%	
合計	326		



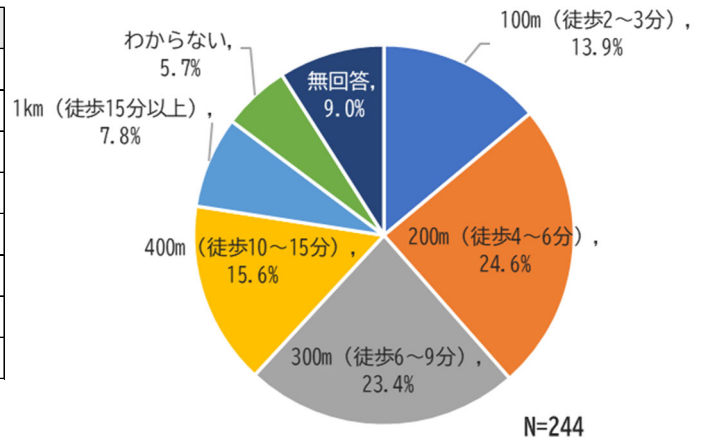
※回答率は N=143 で算出。

問 15

あなたは自宅からバス停までの程度の距離（時間）ならバスを利用しますか。
（該当する項目1つに○）

- 自宅からバス停までの許容距離として、「200m（徒歩4～6分）」（24.6%）が最も多く、次いで「300m（徒歩6～9分）」（23.4%）、「400m（徒歩10～15分）」（15.6%）となっており、自宅から概ね300m前後にバス停を望む市民が半数程度となっています。

項目	回答数	回答率
100m（徒歩2～3分）	34	13.9%
200m（徒歩4～6分）	60	24.6%
300m（徒歩6～9分）	57	23.4%
400m（徒歩10～15分）	38	15.6%
1km（徒歩15分以上）	19	7.8%
わからない	14	5.7%
無回答	22	9.0%
合計	244	100.0%



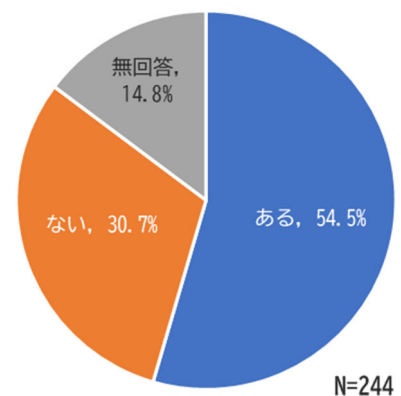
問 16

あなたはバスで行きたい目的地（施設）はありますか。「ある」場合は、その施設名を教えてください。（刈谷市外も含む）

バスで行きたい施設の有無

- バスで行きたい目的地（施設）があると回答した市民は54.5%となっています。

項目	回答数	回答率
ある	133	54.5%
ない	75	30.7%
無回答	36	14.8%
合計	244	100.0%

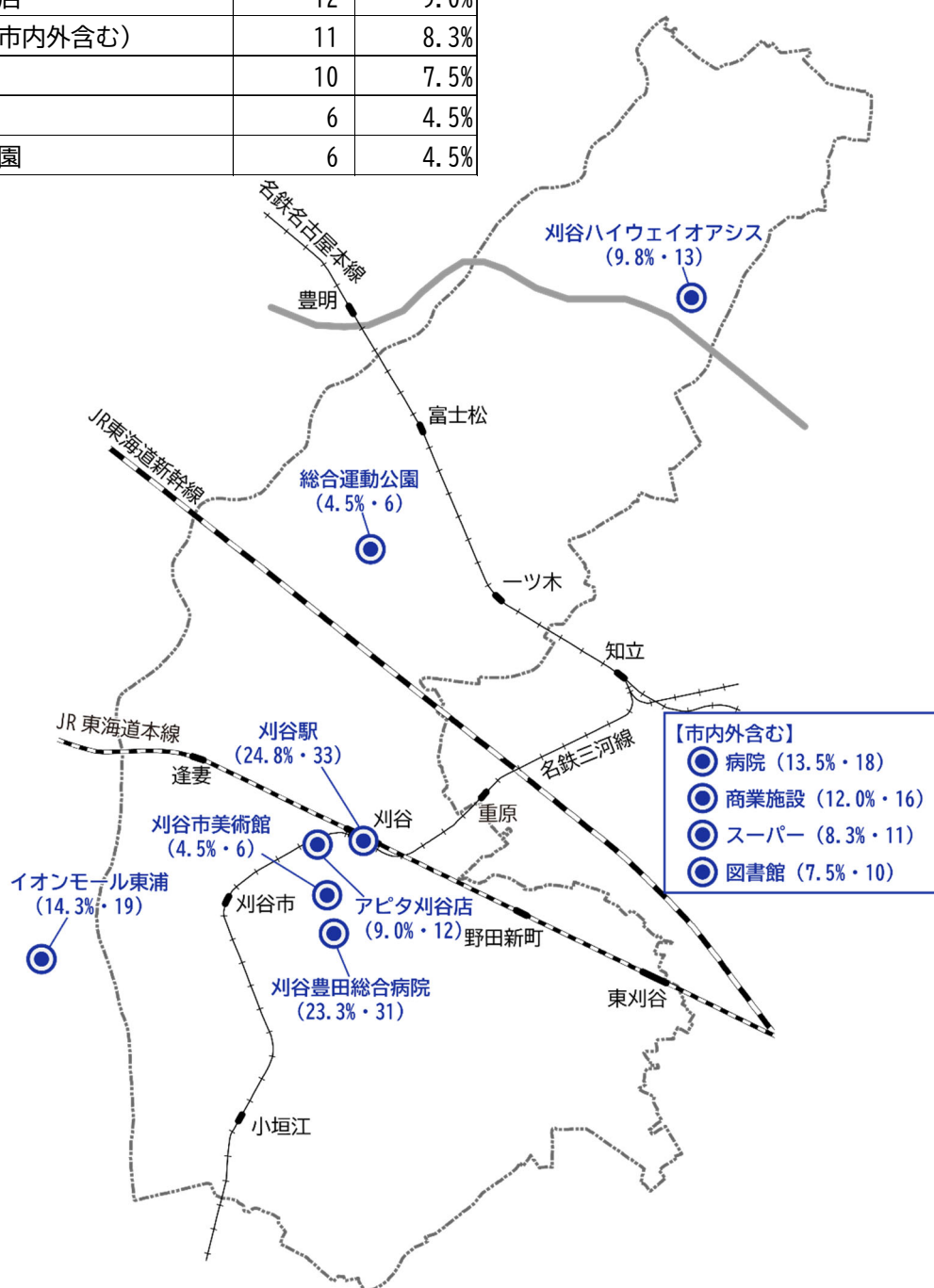


バスで行きたい目的地（施設）

●バスで行きたい目的地（施設）として、「刈谷駅」(24.8%)が最も多く、次いで「刈谷豊田総合病院」(23.3%)、「イオンモール東浦」(14.3%)となっています。

N=133

項目	回答数	回答率
刈谷駅	33	24.8%
刈谷豊田総合病院	31	23.3%
イオンモール東浦	19	14.3%
病院	18	13.5%
商業施設（市内外含む）	16	12.0%
刈谷ハイウェイオアシス	13	9.8%
アピタ刈谷店	12	9.0%
スーパー（市内外含む）	11	8.3%
図書館	10	7.5%
美術館	6	4.5%
総合運動公園	6	4.5%



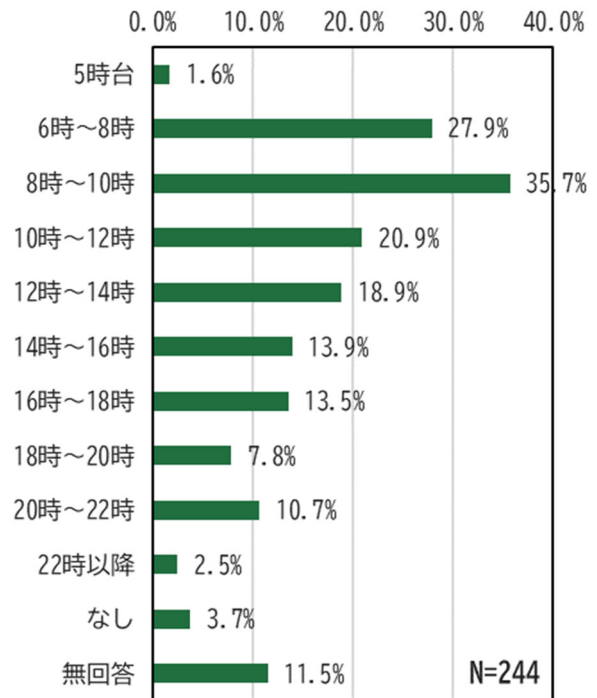
問 17

あなたがバスを利用する際、バスの運行が充実すると使い勝手が良くなる時間帯または今後、バスを利用してみたい時間帯はあるか教えてください。
 (該当する項目2つまで○)

- 使い勝手がよくなるまたは今後利用してみたい時間帯としては、「8～10時」(35.7%)が最も多く、次いで「6～8時」(27.9%)、「10～12時」(20.9%)となっており、午前中の時間帯でのニーズが高い傾向にあります。

項目	回答数	回答率
5時台	4	1.6%
6時～8時	68	27.9%
8時～10時	87	35.7%
10時～12時	51	20.9%
12時～14時	46	18.9%
14時～16時	34	13.9%
16時～18時	33	13.5%
18時～20時	19	7.8%
20時～22時	26	10.7%
22時以降	6	2.5%
なし	9	3.7%
無回答	28	11.5%
合計	411	

※回答率は N=244 で算出。



問 18

あなたが思うバスからバスへの乗り継ぎや鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎに求めるもの、もしくは乗り継ぎ利用の決め手となるものを教えてください。
（該当する項目2つまで○）

バスからバスへの乗り継ぎ

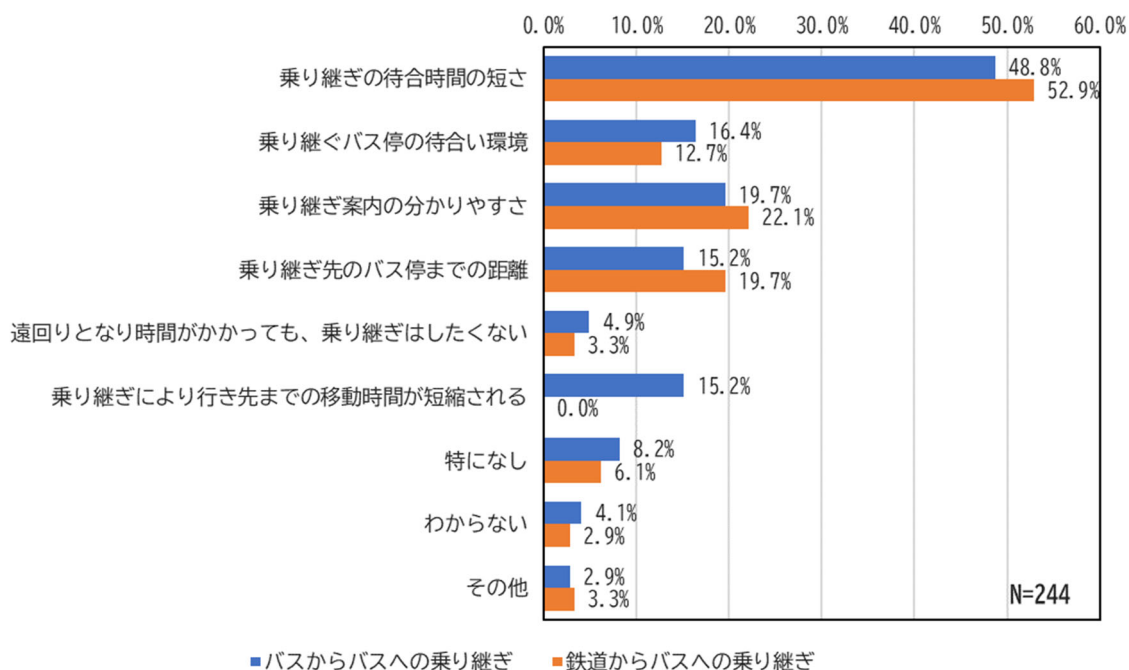
- バスからバスへの乗り継ぎに求めるものは、「乗り継ぎの待合時間の短さ」（48.8%）が最も多く、次いで「乗り継ぎ案内の分かりやすさ」（19.7%）、「乗り継ぐバス停の待合い環境」（16.4%）となっています。

鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎ

- 鉄道からバス（バスから鉄道）への乗り継ぎに求めるものは、「乗り継ぎの待合時間の短さ」（52.9%）が最も多く、次いで「乗り継ぎ案内の分かりやすさ」（22.1%）、「乗り継ぎ先のバス停までの距離」（19.7%）となっています。

項目	バスからバスへの乗り継ぎ		鉄道からバスへの乗り継ぎ	
	回答数	回答率	回答数	回答率
乗り継ぎの待合時間の短さ	119	48.8%	129	52.9%
乗り継ぐバス停の待合い環境	40	16.4%	31	12.7%
乗り継ぎ案内の分かりやすさ	48	19.7%	54	22.1%
乗り継ぎ先のバス停までの距離	37	15.2%	48	19.7%
遠回りとなり時間がかかっても、乗り継ぎはしたくない	12	4.9%	8	3.3%
乗り継ぎにより行き先までの移動時間が短縮される	37	15.2%		
特になし	20	8.2%	15	6.1%
わからない	10	4.1%	7	2.9%
その他	7	2.9%	8	3.3%
無回答	42	17.2%	49	20.1%
合計	372		349	

※回答率はN=244で算出。



第2章 数値目標の設定根拠

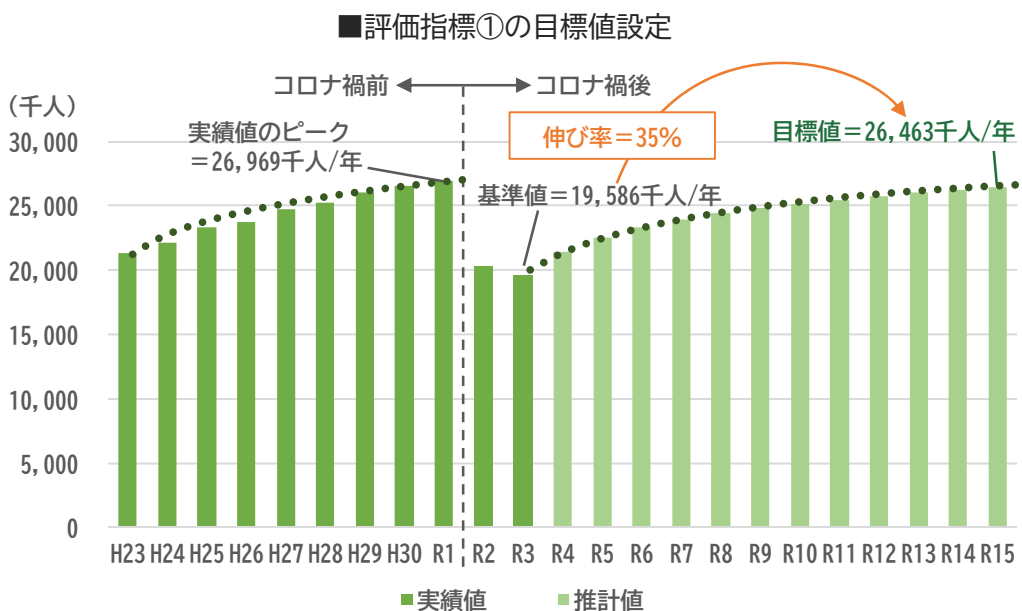
1 数値目標の考え方

(1) 評価指標における数値目標の考え方

評価指標①：公共交通の年間利用者数

- 市内の公共交通全体（鉄道、バス、タクシー）の年間利用者数は、令和元年（2019年）までは増加傾向が見られました。しかし、コロナ禍となった令和2年（2020年）以降は減少傾向が見られ、令和3年（2021年）では19,586千人まで減少しています。
- このような中、計画で掲げる各種施策に取り組むことで、公共交通としての利便性や快適性を向上し、コロナ禍前と同程度の水準まで利用者数を増加させることを目指します。
- 数値目標は、令和3年（2021年）の19,586千人を基準値とし、令和15年（2033年）の目標値を26,463千人/年（下記、【公共交通の年間利用者数のトレンド推計】を参照）として設定します。また、令和10年（2028年）の中間目標値については、25,161千人/年として設定します。

基準値（令和3年）	中間目標値（令和10年）	目標値（令和15年）
19,586千人/年	25,161千人/年	26,463千人/年



【公共交通の年間利用者数のトレンド推計】

- ・平成23年（2011年）から令和元年（2019年）までの公共交通（鉄道、バス、タクシー）の年間利用者数の合計を実績値として、近似曲線を算出しトレンド推計を実施。

評価指標②：「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合

- 鉄道やバスなどの「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合は、令和2年（2020年）は60.1%でしたが、令和4年（2022年）は57.7%に減少しています。
- このような中、各公共交通の機能向上や乗継拠点の整備などに取り組むことで、公共交通としての利便性向上を図るとともに、誰もが便利に使うことのできる公共交通の充実を目指します。

■鉄道やバスなどの「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合

	回答の割合				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
令和2年	23.2%	36.9%	18.5%	20.2%	1.3%

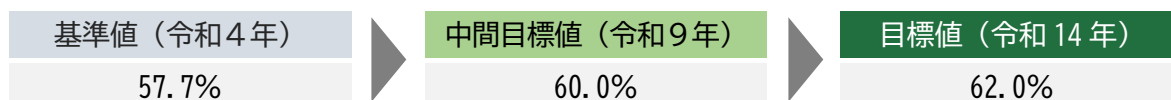
令和2年時点で「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合=60.1%

	回答の割合				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
令和4年	21.9%	35.8%	19.0%	21.6%	1.6%

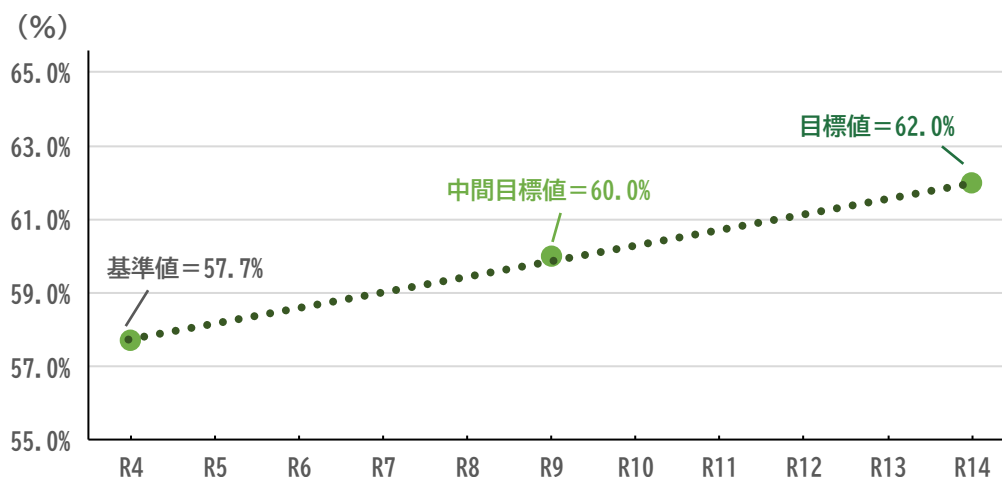
令和4年時点で「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合=57.7%

※鉄道やバスなどの「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。

- 数値目標は、第8次刈谷市総合計画と整合を図るため、令和4年（2022年）の57.7%を基準値とし、令和14年（2032年）の目標値を62.0%として設定します。また、令和9年（2027年）の中間目標値は、基準値から目標値を按分し、60.0%として設定します。



■評価指標②の目標値設定

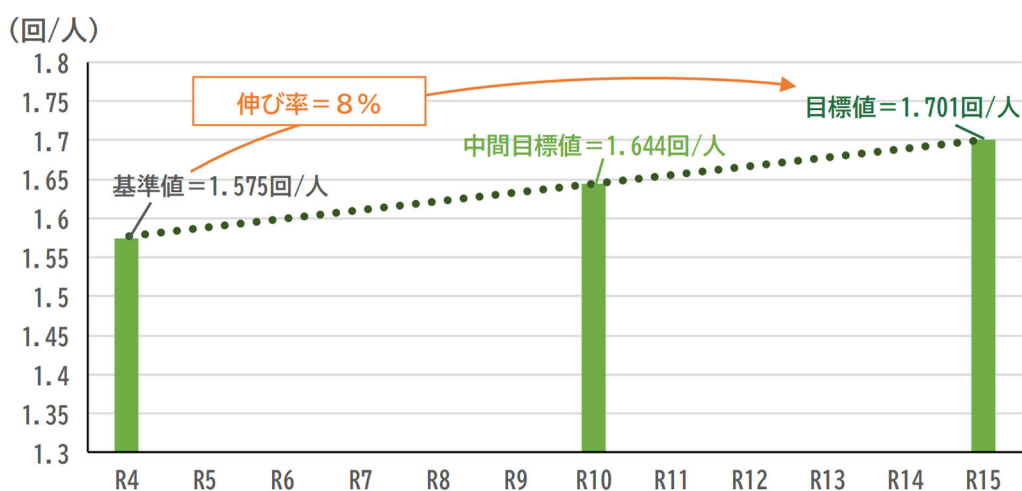


評価指標③：かりまる利用者のバスロケーションシステムのアクセス数

- かりまる利用者のバスロケーションシステムのアクセス数（年間アクセス数をかりまるの年間利用者数で除算）は、令和4年（2022年）は1.575回/人でした。
- このような中、市民だけでなく市外からの来訪者に対してもわかりやすい情報発信などに取り組み、公共交通の利用促進を図ることで、より便利な公共交通サービスの提供を目指します。
- 数値目標は、令和4年（2022年）の1.575回/人を基準値とし、令和15年（2033年）の目標値を1.701回/人（下記【アクセス数の伸び率の設定】を参照）として設定します。また、令和10年（2028年）の中間目標値は、基準値から目標値までの増加分を按分し、1.644回/人として設定します。

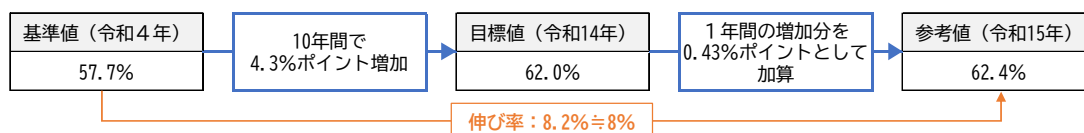
基準値（令和4年）	中間目標値（令和10年）	目標値（令和15年）
1.575回/人	1.644回/人	1.701回/人

■ 評価指標③の目標値設定



【アクセス数の伸び率の設定】

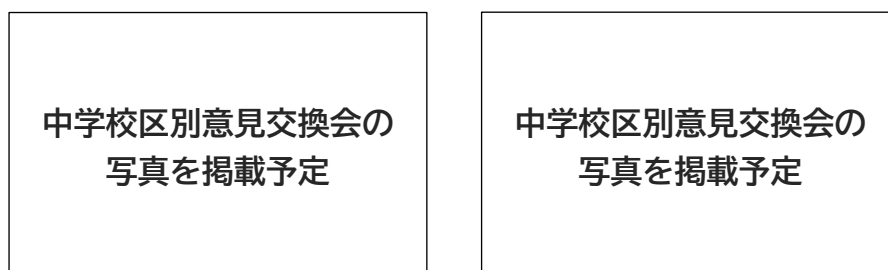
- ・公共交通の利用しやすさには、適切な情報発信が影響すると考え、令和4年（2022年）の基準値である1.575回/人に伸び率を乗じて、目標値及び中間目標値を設定する。
- ・目標値設定に係る「伸び率」は、「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合」における基準値（令和4年）から本計画の目標年次（令和15年）の参考値より算出した上で、伸び率＝8％として設定する。



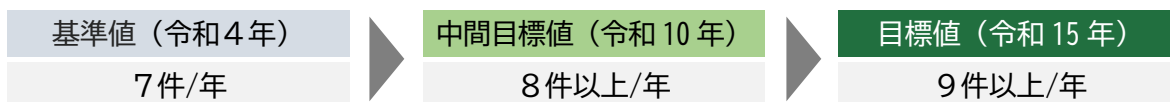
評価指標④：公共交通に関する多様な主体との連携による取組件数

- 本市では、多様な主体と連携した公共交通に関する取組を実施しています。令和4年（2022年）は、中学校区別（6学区）の市民との公共交通に関する意見交換会を実施する他、福祉・健康フェスティバル2022にて子供向けの公共交通の利用促進活動を実施しました。
- このような中、交通事業者や行政だけでなく、市民や民間事業者などの多様な主体が互いに協力しながら、公共交通に関する取組を実施し、持続可能な公共交通の維持を目指します。

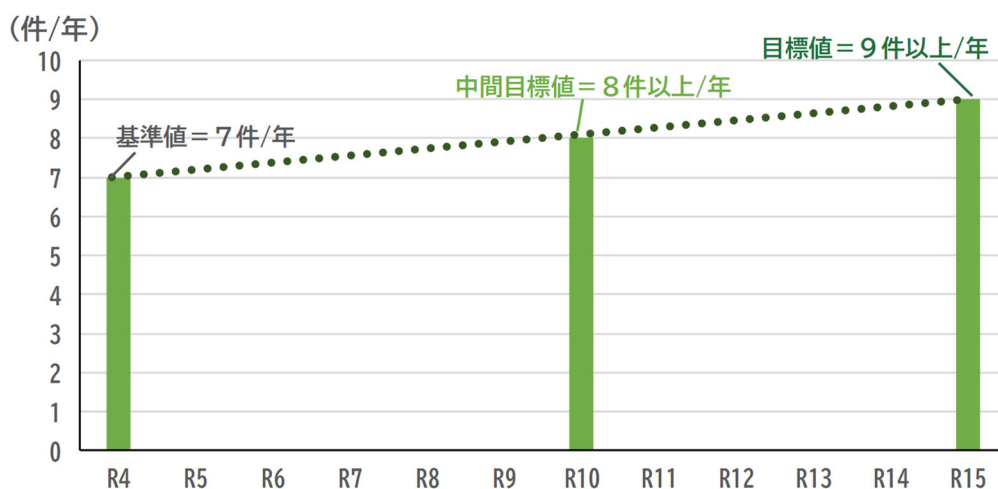
■中学校区別意見交換会の様子



- 数値目標は、令和4年（2022年）の7件/年を基準値とし、中学校区別の公共交通に関する意見交換会を継続して実施していくことに加えて、公共交通に関する利用促進イベントや普及啓発活動を3件/年程度実施することとし、令和15年（2033年）の目標値を9件以上/年程度として設定します。また、令和10年（2028年）の中間目標値は、基準値から目標値までの増加分を按分し、8件以上/年として設定します。



■評価指標④の目標値設定



評価指標⑤：公共交通機関の利用を心掛けている市民の割合

- 公共交通機関の利用を心掛けている市民の割合は、令和2年(2020年)は33.0%であり、令和4年(2022年)は36.1%に増加しています。
- このような中、市民の公共交通に対する意識を醸成することにより、実際の行動として公共交通へ利用交通手段を転換し、過度な自動車依存からの脱却を目指します。

■公共交通機関の利用を心掛けている市民の割合

調査年	回答の割合				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
令和2年	17.4%	15.6%	19.8%	45.7%	1.6%

令和2年時点で「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合=33.0%

調査年	回答の割合				
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
令和4年	18.0%	18.1%	21.9%	40.0%	2.1%

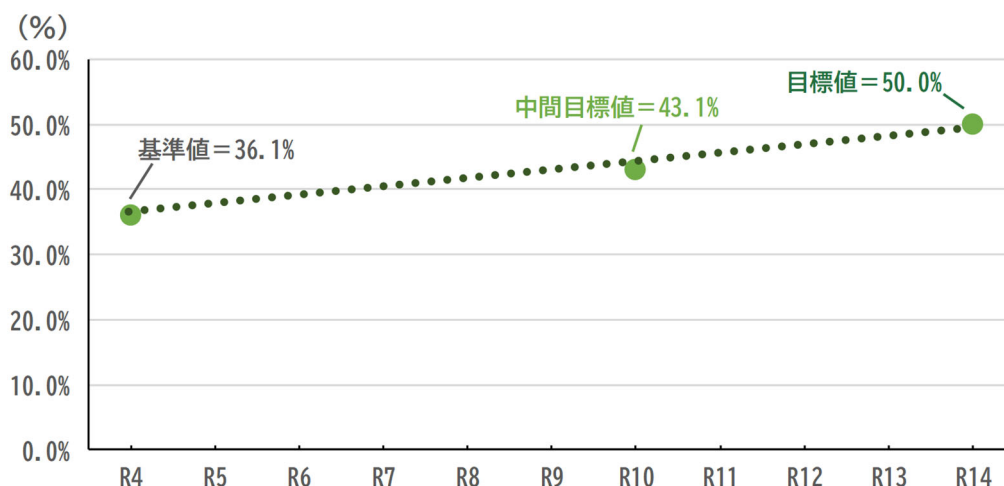
令和4年時点で「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合=36.1%

※公共交通機関の利用を心掛けている市民の割合に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。

- 数値目標は、第8次刈谷市総合計画と整合を図るため、令和4年(2022年)の36.1%を基準値とし、令和14年(2032年)の目標値を50.0%として設定します。また、令和9年(2027年)の中間目標値は、基準値から目標値までの増加分を按分し、43.1%として設定します。

基準値(令和4年)	中間目標値(令和9年)	目標値(令和14年)
36.1%	43.1%	50.0%

■評価指標⑤の目標値設定



(2) 参考指標における数値目標の考え方

参考指標①：普段の外出での公共交通の利用割合

- 市民の普段の外出(買い物、通院等)における公共交通の利用割合は19.3%(鉄道:14.1%、バス:5.2%、タクシー:1.1%)となっており、自動車の割合(61.7%)が高いです。
- このような中、鉄道やバス、タクシーの利用環境の改善に取り組むことにより、日常生活における公共交通利用を促進し、過度な自動車依存からの脱却を目指します。

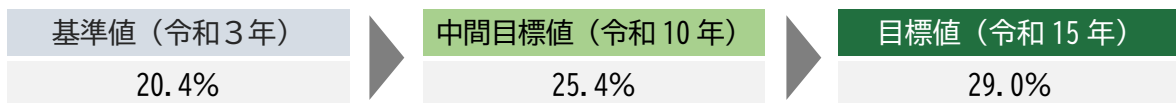
市民の交通手段分担率(公共交通に関する市民アンケート調査結果(令和3年度))

調査年	回答の割合								
	鉄道	バス	タクシー	自動車	二輪車	自転車	徒歩	その他	不明
令和3年	14.1%	5.2%	1.1%	61.7%	1.1%	7.1%	4.3%	1.5%	3.8%

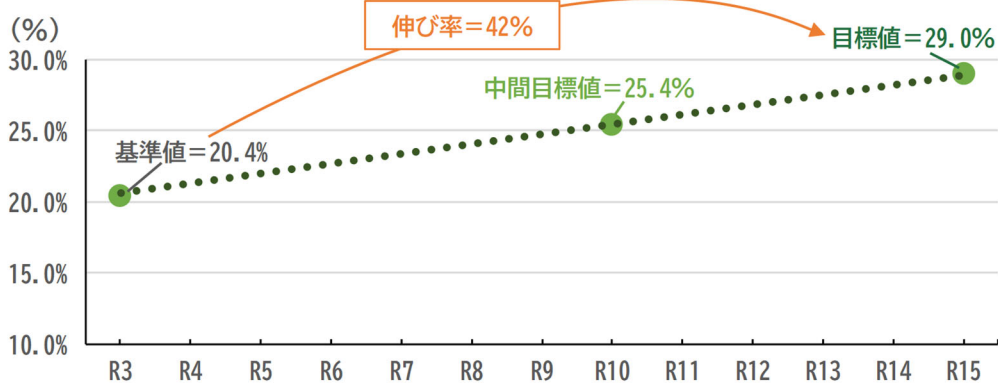
普段の外出における公共交通の利用割合=20.4%

※「鉄道」、「バス」、「タクシー」の分担率の合計値。

- 数値目標は、令和3年(2021年)の20.4%を基準値とし、令和15年(2033年)の目標値を29.0%(下記【公共交通利用の伸び率の設定】を参照)として設定します。また、令和10年(2028年)の中間目標値は、基準値から目標値までの増加分を按分し、25.4%として設定します。

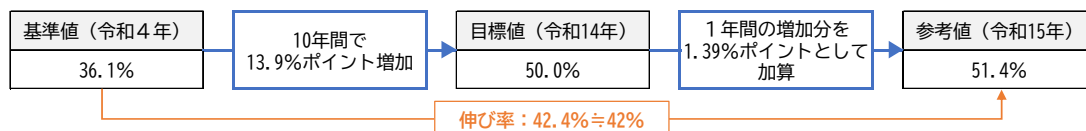


参考指標①の目標値設定



【公共交通利用の伸び率の設定】

- ・「公共交通機関の利用を心掛けている市民」の増加は、自動車から公共交通への利用転換に影響すると考え、令和3年(2021年)の基準値である20.4%に伸び率を乗じて、目標値及び中間目標値を設定する。
- ・目標値設定に係る「伸び率」は、「公共交通機関の利用を心掛けている市民の割合」における基準値(令和4年)から本計画の目標年次(令和15年)の参考値より算出した上で、伸び率=42%として設定する。



参考指標②：公共交通手段別の不満度

- 公共交通手段別の不満度（不満+やや不満）は、鉄道が9.9%、バスが14.0%、タクシーが11.6%となっています。
- このような中、各公共交通のサービスレベルの向上を図ることにより、多様化するニーズに対応した公共交通ネットワークの形成を目指します。

公共交通手段別の満足度（公共交通に関する市民アンケート調査結果（令和3年度））

	回答の割合						
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
鉄道	8.4%	24.2%	34.8%	7.9%	2.0%	12.3%	10.4%

鉄道の不満度（不満+やや不満）=9.9%

	回答の割合						
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
バス	4.2%	14.1%	27.3%	9.3%	4.7%	32.1%	8.4%

バスの不満度（不満+やや不満）=14.0%

	回答の割合						
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
タクシー	2.8%	7.5%	33.1%	8.8%	2.8%	35.4%	9.6%

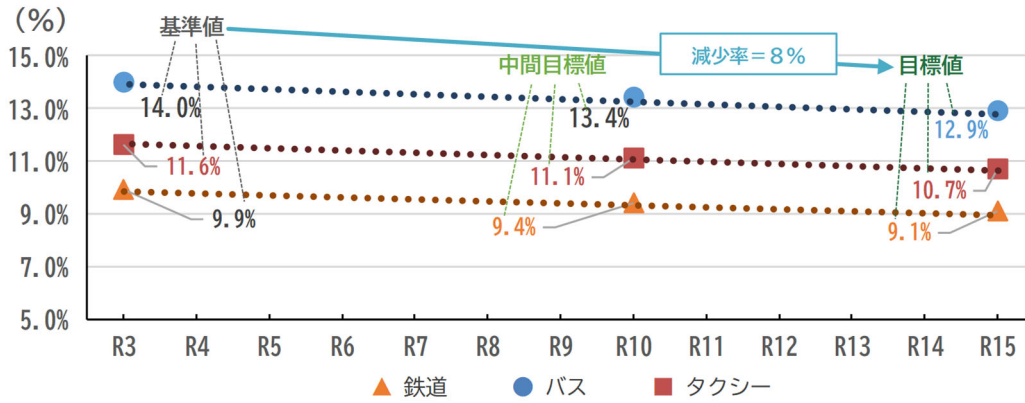
タクシーの不満度（不満+やや不満）=11.6%

※公共交通手段別の満足度に対して、「やや不満」、「不満」と回答した割合。

- 数値目標は、令和3年（2021年）の各公共交通の不満度を基準値とし、令和15年（2033年）の目標値（下記【公共交通手段別の不満度の減少率の設定】を参照）を設定します。また、令和10年（2028年）の中間目標値は、基準値から目標値までの減少分を按分して設定します。

基準値（令和3年）		中間目標値（令和10年）		目標値（令和15年）	
鉄道	9.9%	鉄道	9.4%	鉄道	9.1%
バス	14.0%	バス	13.4%	バス	12.9%
タクシー	11.6%	タクシー	11.1%	タクシー	10.7%

■参考指標②の目標値設定



【公共交通手段別の不満度の減少率の設定】

- ・公共交通の利用のしやすさが向上するほど、公共交通の不満度は減少すると考え、令和3年（2021年）における交通手段別の基準値に減少率を乗じて、目標値及び中間目標値を設定する。
- ・目標値設定に係る「減少率」は、「公共交通が利用しやすい」と思う市民の割合」における基準値（令和4年）から本計画の目標年次（令和15年）の参考値より算出した上で、減少率＝8％として設定する。

参考指標③：主な乗継拠点のバス停の乗降者数

- 主な乗継拠点におけるバスの利用者数は、本市の中心的な乗継拠点である刈谷市が 851 人と最も多く、次いで富士松駅が 126 人、総合運動公園が 107 人となっています。
- このような中、都市計画マスタープランや立地適正化計画と連携しながら、乗継拠点の機能強化やバス停の待合環境の改善に取り組むことにより、様々な交通手段を組み合わせ利用できる公共交通環境の構築を目指します。
- 数値目標は、令和 3 年（2021 年）に実施した OD 調査結果に基づく各バス停乗降客数を基準値とし、令和 15 年（2033 年）の目標値（下記【各バス停乗降客数の伸び率の設定】を参照）を設定します。なお、中間目標値については、基準値から目標値までの増加分を按分して設定します。

基準値（令和 3 年）		中間目標値（令和 10 年）		目標値（令和 15 年）	
刈谷駅	851 人/日	刈谷駅	1,025 人/日以上	刈谷駅	1,150 人/日以上
刈谷市駅	60 人/日	刈谷市駅	75 人/日以上	刈谷市駅	85 人/日以上
野田新町駅	42 人/日	野田新町駅	53 人/日以上	野田新町駅	60 人/日以上
東刈谷駅	89 人/日	東刈谷駅	110 人/日以上	東刈谷駅	125 人/日以上
富士松駅	126 人/日	富士松駅	155 人/日以上	富士松駅	175 人/日以上
逢妻駅	18 人/日	逢妻駅	22 人/日以上	逢妻駅	25 人/日以上
一ツ木駅	15 人/日	一ツ木駅	21 人/日以上	一ツ木駅	25 人/日以上
小垣江駅	48 人/日	小垣江駅	58 人/日以上	小垣江駅	65 人/日以上
総合運動公園	107 人/日	総合運動公園	132 人/日以上	総合運動公園	150 人/日以上

【各バス停乗降客数の伸び率の設定】

- ・公共交通全体の利用者数が増加に合わせて、各バス停の乗降客数も増加すると考え、令和 3 年（2021 年）における各バス停乗降客数の基準値に伸び率を乗じて、目標値及び中間目標値を設定する。
- ・目標値設定に係る「伸び率」は、評価指標①における「公共交通の年間利用者数」における基準値（令和 3 年）年から目標値（令和 15 年）までの公共交通利用者数の伸び率＝約 35%（82 頁参照）と同様とする。